

平成23年度 学力向上のためのPDCAサイクルづくり支援事業

中学校2学年 C調査問題
(問題, 正答)

国語, 数学, 英語

長野県教育委員会

二年) (組) (番) 氏名)

(答えは、すべて解答欄に書きなさい。)

問一 それぞれの問題に答えなさい。

【一】 次の一線のついた漢字のよみがなを [] の中にひらがなで書きなさい。

正答数

問/7問

本を黙読する。

【二】 次の一線のついたひらがなを [] の中に漢字に直して書きなさい。

海をはいけいに写真を撮る。

【三】 次の一文は、主語・述語の対応関係が正しくありません。駅伝大会優勝がクラス全員の目標であることが明らかになるように二つの文に分けて、それぞれ [] の中に書きなさい。
なお二文めは「目標です」を述語とし「目標です」に対応する主語を補いなさい。

わたしたちは、校内駅伝大会優勝をめざし、毎日の練習に取り組んでいて、クラス全員の大きな目標です。

一文め

二文め

【四】 次の文の一線部を現代仮名遣いに直して [] の中に書きなさい。

鳥の寝どころへ行くとして、三つ四つ、二つ三つなどで飛びこぞぐさへあはれなり。」「枕草子」より

問二 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

著作権の関係上、掲載できません。

(池上 彰 「わかりやすく伝える」技術「より」

【五】 この文章から、プレゼンテーションがまとまった印象を与えるポイントは何かについて次のようにノートにまとめました。(ア)に当てはまる言葉を、文章中から二〇字以内で書き抜き、 [] の中に書きなさい。

ノート

最初	聞き手の関心をひきつける
最後	(ア)

Blank lined area for writing answers.

問三 次の詩と資料とを読んで、あとの問いに答えなさい。

「うぐいす」 武鹿悦子

著作権の関係上、掲載できません。

上の作品の空欄部分に入る言葉は何かを想像し、グループで話し合った。

(A) ぼくは「うちゅう」だと思う。理由は、うぐいすの声と、その後の静けさとの対比が大きくなるから。この「しん」は、ちよつとやそつとの「しん」じやなくて、声がどこまでも、どこまでも響いていって、その後、今度はどこまでも、どこまでも静まりかえっていく感じ。それが二度繰り返される「すきとおる」という言葉の意味でもあると思う。

〈グループでの話合いの様子〉



(C) わたしは、「やま」だと思う。理由は、「うぐいす」の声を通して山や森のさわやかさが伝わると思うから。春の初めのころの、まだちょっと寒い感じのする山全体に、うぐいすの「ホーホケキョ」と声が響くと、とても静かで、山のさわやかな感じがすると思う。そのさわやかさが、「すきとおる」に表われていると思う。

(B) ぼくは、「あたり」だと思う。理由は、うぐいすの音が響くのはそんなに広くないと思うから。うぐいすの音が辺り一面に響いて、それまで鳴いていた鳥とか虫とかが「びたっ」と鳴き止んで、うぐいすの声だけがその辺りに響いているということだと思う。

二の話合いを聞いていたDさんは、次のように自分の考えをまとめた。
Dさんの考え

ア

わたしは、Aさんの「うちゅう」がいいと思いました。うぐいすの音が響いている「広さ」に気がつけて、三人の意見を聞いてみると、という事実が気づきました。

わたしは、うぐいすの音が響く広さは、できるだけ広い方がいいと思います。その理由は、広い方がうぐいすの音が透き通っている感じが強まり、「うぐいすのこえ すきとおる」と繰り返し作者の思いにも重なると思うからです。そう考えると、うぐいすの音が響く広さが一番広いのはAさんの考えで、私の考えと(イ)から、わたしはAさんの考えに賛成です。

【六】ア に当てはまる内容を、三人の「広さ」についての意見の違いに着目して、「〜という事実」につながる形で、書きなさい。

【七】「Aさんの考えに賛成」と判断したDさんの理由が明確になるように、(イ)にあてはまる言葉を、自分で考えて五字以内で書きなさい。

平成 23 年度 C 調査問題 中学校 2 年数学 (1)

2 年 () 組 () 番 氏名 ()

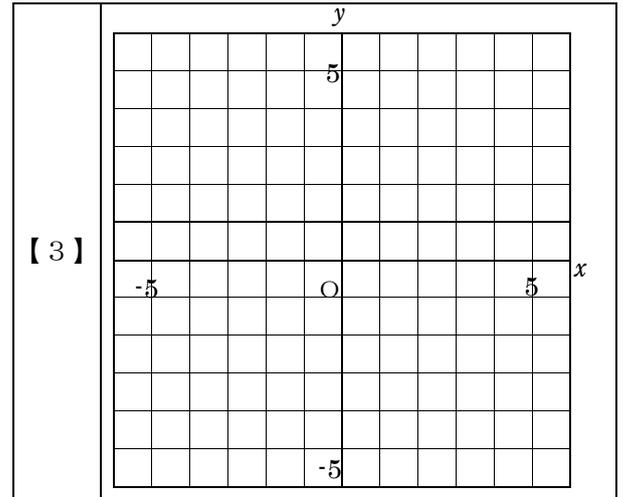
正答数
問 / 7 問

【1】 $14 - 8 \div (-2)$ を計算しなさい。

【2】 連立方程式 $\begin{cases} x - 2y = 5 \\ 2x + y = 5 \end{cases}$ を解きなさい。

【1】	
【2】	$(x, y) = (\quad , \quad)$

【3】 比例の関係 $y = -\frac{1}{2}x$ のグラフをかきなさい。

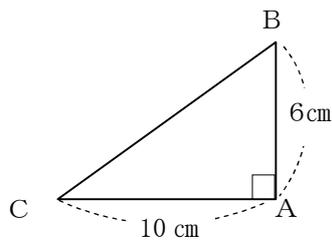


【4】 二元一次方程式 $x - y = 2$ の解である x, y の値の組について、下のア～エの中から正しいものを 1 つ選びなさい。

- ア 解である x, y の値の組はない。
- イ 解である x, y の値の組は 1 つだけある。
- ウ 解である x, y の値の組は 2 つだけある。
- エ 解である x, y の値の組は無数にある。

【4】	
-----	--

【5】 下の図のような直角三角形 ABC を、直線 AB を軸として 1 回転させて立体をつくります。できる立体の体積を求めなさい。ただし、円周率は π とします。

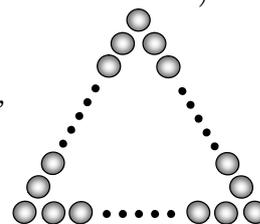


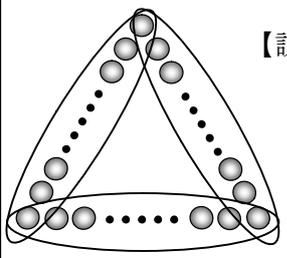
【5】		cm^3
-----	--	---------------

平成 23 年度 C 調査問題 中学校 2 年数学 (2)

2 年 () 組 () 番 氏名 ()

- 【6】 右の図のように 1 辺に同じ個数のご石を並べて、正三角形をつくります。
 はなこさんは、1 辺に並べるご石の個数を x 個として、全体のご石の個数を、
 $3x - 3$ (個) と $3(x - 2) + 3$ (個) の 2 つの式で表しました。
 そして、 $3x - 3$ (個) について、どのようにご石を囲んで考えたのかを、
 下のように説明しました。



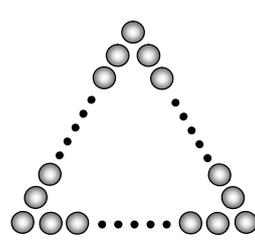


【説明】 $3x$ の x は、左の図の のことです。
 それが 3 つあるので 3 倍します。
 3 を引くのは、 でご石の数を数えると 3 つの頂点のご石を 2 回
 数えてしまうからです。
 だから全体のご石の個数は、 $3x - 3$ (個) と表せます。

$3(x - 2) + 3$ (個) について、どのようにご石を囲んで考えたのかを、上の【説明】を参考にして説明しなさい。

【6】

【説明】



- 【7】 たろうさんは、右の表を見て「奇数と偶数の和は奇数になる」と予想しました。たろうさんは、その予想が正しいことを下のように説明しました。
 下の説明を完成させなさい。

1	+	2	=	3
3	+	8	=	1 1
3 1	+	8 2	=	1 1 3
				:

【7】

【説明】 m, n を整数とすると、奇数と偶数はそれぞれ $2m + 1, 2n$ と表すことができる。したがってそれらの和は $(2m + 1) + 2n$

よって、奇数と偶数の和は奇数になる。

◇学校の授業時間以外に、ふだん(月曜日から金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、勉強しますか。
 当てはまる番号に○をしましょう。(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間
 時間も含まれます。)

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1 3 時間以上 | 2 2 時間以上, 3 時間より少ない |
| 3 1 時間以上, 2 時間より少ない | 4 30 分以上, 1 時間より少ない |
| 5 30 分より少ない | 6 まったくしない |

平成 23 年度 C 調査問題 中学校 2 年英語

2 年 () 組 () 番 氏名 ()

正答数

問 / 7 問

次の英文を読んで、下の問いに答えなさい。(答えは、すべて解答欄に書きなさい。)

<長野市に住んでいる男子中学生の健の学校に、アメリカから留学生がやってきました。健がその留学生に英語で自己紹介をしています。>

Welcome to our school. My name is Ken Minami. I'm very happy to meet you.
①(going / you / to / am / tell / I) about myself. I like swimming very much, and I'm in the swimming club. I also like to listen to music. I listen to music every Sunday. My favorite subject is English. I study it every day.

<写真を見せながら>

This is my family. My father is a doctor. He likes to play golf.

My mother is a cook. She is ②(work) at a restaurant. She is very kind.

I have one sister. (③) She is studying very hard to be a doctor at college. She is living in Tokyo now and sometimes comes back to Nagano on ④ (土曜日).

How do you like Japan? I hope you will have a wonderful time during your stay here.

[注] myself : 私自身 golf : ゴルフ restaurant : レストラン college : 大学 doctor : 医者 hope : ~を望む

【1】下線部①が意味の通る英文になるように、() 内の語を、並べかえて書きなさい。
ただし、文の始めにくる語は、最初の文字を大文字になおして書きなさい。

【2】下線部②の () 内の語を、最も適切な形になおして、1 語で書きなさい。

【3】前後の文のつながりを考えて、(③) 内に当てはまる最も適切な文をア～エの中から一つ選び、記号を書きなさい。

- (
ア She is a high school student.
イ She lives with us.
ウ She is a doctor.
エ She is a college student.
)

[注] high school : 高校

【4】④の () 内の日本語を正しい英語 1 語で書きなさい。

本文の内容について、【5】、【6】の質問に英語で答えなさい。答えは () 内に 1 語ずつ書きなさい。

【5】 Does Ken like swimming very much?

() , () () .

【6】 Where does Ken's sister live ?

() () () () .

【7】あなたが先週したこと (スポーツや趣味など) を 1 つ取り上げ英語で 1 文書き、そのことについてのあなたの考えや気持ちをさらに英文で 1 文書き加えなさい。

平成 23 年度 C 調査問題 中学校 2 年英語

正答数

問 / 7 問

2 年 () 組 () 番 氏名 ()

[解答欄]

【1】	() about myself.
【2】	
【3】	
【4】	
【5】	() , () () .
【6】	() () () () .
【7】	-----

正答(例)

平成二十三年年度 C 調査問題 中学校二年国語(一)

二年) (組) (番) 氏名)

(答えは、すべて解答欄に書きなさい。)

問一 それぞれの問題に答えなさい。

【二】 次の一線のついた漢字のよみがなを [] の中にひらがなで書きなさい。

本を黙読する。

【二】 次の一線のついたひらがなを [] の中に漢字に直して書きなさい。

海をはいけいに写真を撮る。

背景

もくどく

【三】 次の一文は、主語・述語の対応関係が正しくありません。駅伝大会優勝がクラス全員の目標であることが明らかになるように二つの文に分けて、それぞれ [] の中に書きなさい。
なお二文めは「目標です」を述語とし「目標です」に対応する主語を補いなさい。

わたしたちは、校内駅伝大会優勝をめざし、毎日の練習に取り組んでいて、クラス全員の大きな目標です。

例 一文め わたしたちは、校内駅伝大会優勝をめざし、毎日の練習に取り組んでいます。

例 二文め 校内駅伝大会優勝は、クラス全員の大きな目標です。 ※解説シート参照

【四】 次の文の一線部を現代仮名遣いに直して [] の中に書きなさい。

鳥の寝どころへ行くとして、三つ四つ、二つ三つなど飛びいそぐさへあはれなり。 (「枕草子」より)

あわれなり

問二 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

著作権の関係上、掲載できません。

(池上 彰 「わかりやすく伝える」技術「より」)

【五】 この文章から、プレゼンテーションがまとまった印象を与えるポイントは何かについて次のようにノートにまとめました。(ア)に当てはまる言葉を、文章中から二〇字以内で書き抜き、 [] の中に書きなさい。

ノート	
最初	聞き手の関心をひきつける
最後	(ア)

もう一度おさらいしてから結論とする

正答数

問/7問

正答(例)

平成二十三年年度 C調査問題 中学校二年国語(二)

二年) (組) (番 氏名)

問三 次の詩と資料とを読んで、あとの問いに答えなさい。

上の作品の空欄部分らんに入る言葉は何かを想像し、グループで話し合った。

「うぐいす」 武鹿悦子

著作権の関係上、掲載できません。

〈グループでの話合いの様子〉



(A) ぼくは「うちゅう」だと思う。理由は、うぐいすの声と、その後の静けさとの対比が大きくなるから。この「しん」は、ちょっとやさそとの「しん」じやなくて、声がどこまでも、どこまでも響いていって、その後、今度はどこまでも、どこまでも静まりかえっていく感じ。それが二度繰り返される「すきとおる」という言葉の意味でもあると思う。

(B) ぼくは、「あたり」だと思う。理由は、うぐいすの音が響くのはそんなに広くないと思うから。うぐいすの音が辺り一面に響いて、それまで鳴いていた鳥とか虫とかが「びたっ」と鳴き止んで、うぐいすの声だけがその辺りに響いているということだと思う。

(C) わたしは、「やま」だと思う。理由は、「うぐいす」の声を通して山や森のさわやかさが伝わると思うから。春の初めのころの、まだちょっと寒い感じのする山全体に、うぐいすの「ホーホケキョ」と声が響くと、とても静かで、山のさわやかな感じがすると思う。そのさわやかさが、「すきとおる」に表われていると思う。

この話合いを聞いていたDさんは、次のように自分の考えをまとめた。
Dさんの考え

ア

わたしは、Aさんの「うちゅう」がいいと思いました。うぐいすの音が響いている「広さ」に気がつけて、三人の意見を聞いていると、という事実気づきました。

わたしは、うぐいすの音が響く広さは、できるだけ広い方がいいと思います。その理由は、広い方がうぐいすの音が透き通っている感じが強まり、「うぐいすのこえ すきとおる」と繰り返した作者の思いにも重なると思うからです。そう考えると、うぐいすの音が響く広さが一番広いのはAさんの考えで、私の考えと(イ)から、わたしはAさんの考えに賛成です。

【六】 ア に当てはまる内容を、三人の「広さ」についての意見の違いに着目して、「〜という事実」につながる形で、書きなさい。

「あたり」「やま」「うちゅう」の順に広がっている

【七】「Aさんの考えに賛成」と判断したDさんの理由が明確になるように、(イ)にあてはまる言葉を、自分で考えて五字以内で書きなさい。

重なる

正答

平成 23 年度 C 調査問題 中学校 2 年数学 (1)
 2 年 () 組 () 番 氏名 ()

正答数

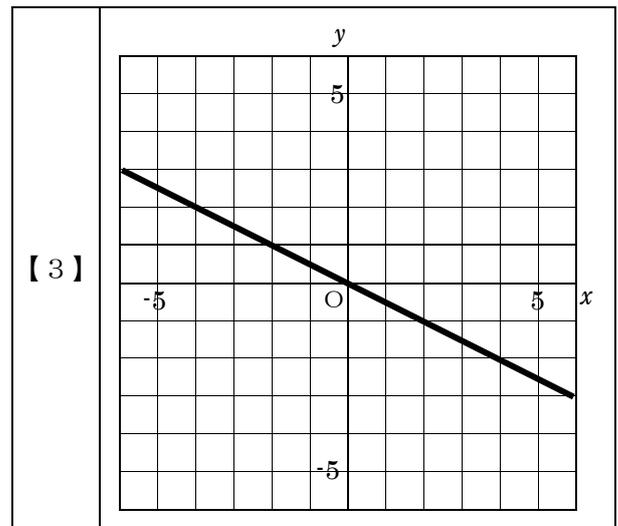
問 / 7 問

【1】 $14 - 8 \div (-2)$ を計算しなさい。

【2】 連立方程式 $\begin{cases} x - 2y = 5 \\ 2x + y = 5 \end{cases}$ を解きなさい。

【1】	18
【2】	$(x, y) = (3, -1)$

【3】 比例の関係 $y = -\frac{1}{2}x$ のグラフをかきなさい。

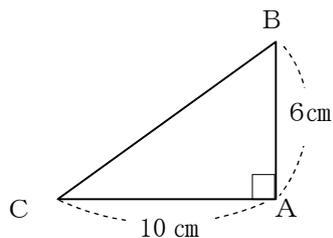


【4】 二元一次方程式 $x - y = 2$ の解である x, y の値の組について、下のア～エの中から正しいものを1つ選びなさい。

- ア 解である x, y の値の組はない。
- イ 解である x, y の値の組は1つだけある。
- ウ 解である x, y の値の組は2つだけある。
- エ 解である x, y の値の組は無数にある。

【4】	エ
-----	----------

【5】 下の図のような直角三角形ABCを、直線ABを軸として1回転させて立体をつくります。できる立体の体積を求めなさい。ただし、円周率は π とします。



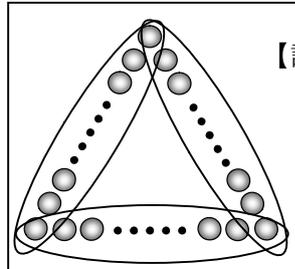
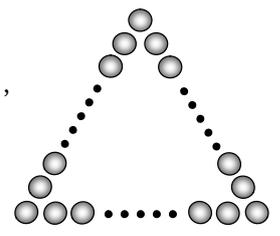
【5】	200π cm³
-----	---

正答

平成 23 年度 C 調査問題 中学校 2 年数学 (2)

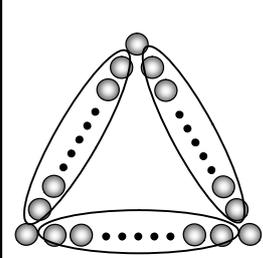
2 年 () 組 () 番 氏名 ()

【6】 右の図のように 1 辺に同じ個数のご石を並べて、正三角形をつくります。
 はなこさんは、1 辺に並べるご石の個数を x 個として、全体のご石の個数を、
 $3x - 3$ (個) と $3(x - 2) + 3$ (個) の 2 つの式で表しました。
 そして、 $3x - 3$ (個) について、どのようにご石を囲んで考
 えたのかを、下のように説明しました。



【説明】 $3x$ の x は、左の図の ○ のことです。
 それが 3 つあるので 3 倍します。
 3 を引くのは、○ でご石の数を数えると 3 つの頂点のご石を 2 回
 数えてしまうからです。
 だから全体のご石の個数は、 $3x - 3$ (個) と表せます。

$3(x - 2) + 3$ (個) について、どのようにご石を囲んで考えたのかを、上の【説明】を参考
 にして説明しなさい。



【6】

【説明】 $3(x - 2)$ の $x - 2$ は、左の図の ○ のことです。
 {一辺から両端のご石を除いた個数です。} それで 3 つあるので
 3 倍します。
 3 を加えるのは、○ でご石の数を数えると 3 つの頂点の
 ご石を数えないからです。{3 つのご石があまるからです。}
 だから、全体のご石の個数は、 $3(x - 2) + 3$ (個) と表せま
 す。

【7】 たろうさんは、右の表を見て「奇数と偶数の和は奇数にな
 る」と予想しました。たろうさんは、その予想が正しいこと
 を下のように説明しました。
 下の説明を完成させなさい。

1	+	2	=	3
3	+	8	=	11
31	+	82	=	113
				:

【7】

【説明】 m, n を整数とすると、奇数と偶数はそれぞれ
 $2m + 1, 2n$ と表すことができる。したがってそれらの和は
 $(2m + 1) + 2n$
 $= 2m + 1 + 2n$
 $= 2(m + n) + 1$
 $m + n$ は整数だから、これは奇数である。
 よって、奇数と偶数の和は奇数になる。

◇学校の授業時間以外に、ふだん(月曜日から金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、勉強しますか。
 当てはまる番号に○をしましょう。(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時
 間も含まれます。)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1 3時間以上 | 2 2時間以上、3時間より少ない |
| 3 1時間以上、2時間より少ない | 4 30分以上、1時間より少ない |
| 5 30分より少ない | 6 まったくしない |

正答

平成 23 年度 C 調査問題 中学校 2 年英語

2 年 () 組 () 番 氏名 ()

正答数

問 / 7 問

〔解答欄〕

【1】	(I / am / going / to / tell / you) about myself.	
【2】	working	
【3】	エ	
【4】	Saturday	
【5】	(Yes) , (he) (does) .	
【6】	(She) (lives) (in) (Tokyo) .	
【7】	【例 1】 I played tennis. I like it very much.	
	----- 【例 2】 I went shopping last week. I enjoyed it.	

※正答の条件は、解説シート参照。

平成23年度 学力向上のためのPDCAサイクルづくり支援事業

中学校2学年 C調査問題指導資料
(解説シート，指導シート)

国語，数学，英語

長野県教育委員会

中学校 2 年国語【一】【二】解説シート

◆ 問題及び正答

【一】 次の 線部の漢字のよみがなを、下の の中にひらがなで書きなさい。
本を黙読する。

【二】 次の 線部のひらがなを漢字に直して、下の の中に書きなさい。
海をはいけいに写真を撮る。

〈正答〉【一】 もくどく

〈正答〉【二】 背景

◆ 出題の趣旨

文脈に即して漢字を正しく書いたり読んだりできるかどうかをみる (【一】【二】)。

◆ P調査との関連

P調査【一】【二】の類題

◆ 学習指導要領との関連

- ・ 第2学年 伝統的な言語文化と国語の特質 (1) ウ (ア)
第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち、300字程度から350字程度までの漢字を読むこと。
- ・ 第2学年 伝統的な言語文化と国語の特質 (1) ウ (イ)
学年別配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使うこと。

◆ 解答類型及び過去の調査における正答率

〈【一】 解答類型〉

〈人 %〉

1◎	「もくどく」と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

〈【二】 解答類型〉

〈人 %〉

1◎	「背景」と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

〈過去の調査における正答率〉

	正答率	問 題
平成 22 年度 P 調査	58.2%	【一】 言葉を介して意思を伝え合う。
平成 22 年度 C 調査	64.2%	【一】 感慨無量だ。
平成 23 年度 P 調査	11.0%	【一】 約束を履行する。
平成 22 年度 P 調査	14.1%	【二】 しこう錯誤して問題を解決する。
平成 22 年度 C 調査	63.3%	【二】 こうじつをつくる。
平成 23 年度 P 調査	25.9%	【二】 森羅ばんしょうを網羅する。

中学校 2年国語【一】【二】指導シート

〈 誤答分析 〉

【分析】

【一】「もくどく」と正確に読めない生徒は何人いましたか。

- ・このような生徒は、「黙読(だまってよむ)」という言葉の意味のつながりが、漢字の読み方と結び付いていなかったことが考えられます。

【二】漢字を書き間違えた生徒は何人いましたか。

- ・このような生徒は、「海を背景に(背にして)」という言葉の意味のつながりが、漢字の表記と結び付いていなかったことが考えられます。

【確認】

- ・中学校の学習では、抽象的な語彙、漢語を中心として書き言葉に使用する言い回しの語彙が増えます。このような語彙を使う場を設定していますか。
- ・文脈の中で、言葉の意味を、一字一字の漢字から想像する場を作るなどしていますか。

ここがポイント



漢字学習

意味を考えながら使い、文脈に即して漢字を使う学習を

【誤答分析から取組への見通し】

- ① 中学生の時期は抽象的な語彙や文章表現で使う語彙など、語彙が広がる発達段階です。語彙学習では、意味理解と同時に自分の言葉として使う場面を多くすることで、日常生活に生きる語彙の力となります。類義の言葉を関連付けたり、使う場面を設定したりする学習場面を工夫しましょう。
- ② 表意文字としての漢字の特徴に気付かせ、文脈の中で漢字の意味を想像する学習場面を工夫しましょう。

〈 日常の授業改善に向けて 〉

授業における漢字指導

◇ 文脈に沿った適切さを考えて漢字を使っていく学習場面を

- ① 成り立ちや仕組みを理解しないまま覚えるため、形の似ているものと混同しやすく定着がしにくいので、偏の違う漢字や形の似ている漢字と関連・比較させながら指導しましょう。
- ② 初めて出会う漢字については、成り立ちや意味などを丁寧に扱きましょう。また、教科書本文で使われている音読み或いは訓読みのみを扱うのではなく、学年配当を確かめて、音訓両方に留意して指導しましょう。
- ③ 四字熟語の意味を考えさせたり、使用頻度の低いものを意図的に取り上げたりするなどの指導を工夫しましょう。

日常生活における漢字指導

◇ 日常の授業や生活の中で、継続的・反復的な指導を

- ① 日記や学習ノートから読み書きの誤答傾向を日常的に把握し、生活の中で繰り返し使用していくように機会をとらえて指導しましょう。
- ② 日常的な漢字練習の成果をチェックする漢字テスト等を効果的に位置付けましょう。
- ③ 生活に役立つ四字熟語やことわざなどを継続的に指導していきましょう。

中学校 2 年国語【三】 解説シート

◆ 問題及び正答例

【三】 次の一文は、主語・述語の対応関係が正しくありません。駅伝大会優勝がクラス全員の目標であることが明らかになるように二つの文に分けて、それぞれ の中に書きなさい。
なお二文めは「目標です」を述語とし「目標です」に対応する主語を補いなさい。

わたしたちは、校内駅伝大会優勝をめざし、毎日の練習に取り組んでいて、クラス全員の大きな目標です。

〈正答例〉

※正答例と同等の内容であれば正答とする。

一文め
「わたしたちは、校内駅伝大会優勝をめざし、毎日の練習に取り組んでいます。」

二文め
「校内駅伝大会優勝は、クラス全員の大きな目標です。」

◆ 出題の趣旨

二つの内容を含んでいる一文を、二つの文に適切に分けて表現することができるかどうかをみる。

◆ P調査との関連

P調査【三】の類題

◆ 学習指導要領との関連

・第2学年 B書くこと オ

書いた文章を互いに読み合い、文章の構成や材料の活用の仕方などについて意見を述べたり助言をしたりして、自分の考えを広げること。

◆ 解答類型及び過去の調査における正答率

〈【三】 解答類型〉

〈 人 % 〉

1◎	次の①・②の条件を満たして解答している。 ① 意味は変えずに二つの文に適切に分けて書いている。 ② 「目標です」に対応する主語を補って二文めを適切に書いている。 (正答例) 一文め・わたしたちは、校内駅伝大会優勝を目指し、毎日の練習に取り組んでいます。 二文め・校内駅伝大会優勝は、クラス全員の大きな目標です。 ・優勝は、クラス全員の大きな目標です。 ・それは、クラス全員の大きな目標です。		
2○	条件①・②を満たしているが、文末に「。(句点)」がないもの。		
3	条件①を満たし、条件②を満たさないで解答しているもの。		
4	条件②を満たし、条件①を満たさないで解答しているもの。		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答 ○設問の趣旨に即し必要な条件を満たしている正答 (準正答)

〈過去の調査における正答率〉

平成 23 年度P調査【三】 35.4%

平成 22 年度 全国学力・学習状況調査 A 4 二 41.4%(全国) 37.8%(長野県)

中学校 2 年国語【三】指導シート

〈 誤答分析 〉

【分析】 解答類型 3, 4 の解答には, 次のようなことが考えられます。

- ・ 類型 3 → 文脈の中で適切に主語を補うことができていないと考えられます。
- ・ 類型 4 → 二つの意味内容を正しくとらえられていないと考えられます。

【確認】

- ・ 文章を推敲する機会を設けていますか。
- ・ 文章を推敲し, 分かりやすく書こうとする習慣は身に付いていますか。
- ・ 意味のまとまりを考えて文章を書く習慣は身に付いていますか。

ここがポイント



学習過程に沿って推敲し合う学習を

【誤答分析から取組への見通し】

- ① 推敲の学習では, 主述や修飾・被修飾など語句同士の関係, また, 文や段落相互の関係などについても, 整合性を点検させ読みやすく分かりやすい文章を生徒が書けるようにしましょう。
- ② 単に文章を修正するだけではなく, なぜ修正するのかという理由を明確に意識した推敲の学習をしましょう。
- ③ 文を修正する例を具体的に示し, 推敲に必要な知識や技能を理解させた上で, 自分で読み返したり, ペアやグループで読み合ったり, 学級全体で検討したりして, 生徒の書く力を高めましょう。
- ④ 取材や構成の段階で目的や相手について意識させたり, 記述の段階で表現しようとする内容に最もふさわしい語句を選ぶよう工夫させたりするなど, 書く過程で随時立ち止まり, 見直ししながら書くようにさせることが大切です。
- ⑤ [伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項] 第 1 学年(1)イ(エ)「単語の類別について理解し, 指示語や接続詞及びこれらと同じような働きをもつ語句などに注意すること」 第 2 学年(1)イ(ウ)「文中の文の成分の順序や照応, 文の構成などについて考えること」等と関連付けた学習をしましょう。

〈 日常の授業改善に向けて 〉

1 年「書くこと」の指導

◇ 表記や語句の用法, 叙述の仕方などを確かめて, 読みやすく分かりやすい文章をつくっていく学習にしましょう。

伝えようとする事実や事柄, 意見などが十分に書き表されているかどうかを, 文字や表記が正しいか, 漢字と仮名の使い分けが適切か, 語句の選び方や使い方, 文の長さ, 文や段落の接続の関係, 全体と部分の関係が的確で効果的であるかなどについて検討する場を設定しましょう。

2 年「書くこと」の指導

◇ 語句や文の使い方, 段落相互の関係に注意して, 読みやすく分かりやすい文章をつくっていく学習にしましょう。

伝えたい事柄等にふさわしい語句や文の使い方になっているか, 段落の設け方, 段落相互の関係, 論点と論拠の関係などについて検討し合えるようにしましょう。

中学校 2 年国語【四】解説シート

◆ 問題及び正答

(「枕草子」より)

はれなり。
つ、二つ三つなど飛びいそぐさへあ
鳥の寝どころへ行くとして、三つ四

【四】 線部を現代仮名遣いに直して、
すべてひらがなで の中に書き
なさい。

〈正答〉【四】
あわれなり

◆ 出題の趣旨

歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことができるかどうかをみる。

◆ P調査との関連

P調査【四】の類題

◆ 学習指導要領との関連

- ・ 第2学年 「伝統的な言語文化と国語の特質」 (1) ア (ア)
- 作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界を楽しむこと。

◆ 解答類型及び過去の調査における正答率

<【四】解答類型>

		人	%
1◎	「あわれなり」と解答しているもの		
2	現代語訳しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

<過去の調査における正答率>

	正答率	問 題
平成 22 年度 P 調査	50.7%	【四】 さぬきのみやつことなむいいける
平成 22 年度 C 調査	38.0%	【四】 やうやうしろくなりゆくやまぎは
平成 23 年度 P 調査	45.7%	【四】 のたまひしに

中学校 2年国語【四】指導シート

〈 誤答分析 〉

【分析】 正答例以外の解答をしている生徒は何人いましたか。

- ・類型 2 → 現代仮名遣いにすることと現代語訳することの区別ができていないことが考えられます。
- ・類型 9 → 歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことが定着していないことが考えられます。

【確認】

- ・ 古文の音読がたどり読みでなく、文意を考えながら区切れを意識して読んでいますか。
- ・ 歴史的仮名遣い特有の仮名遣いの読み方の決まりを理解していますか。

ここがポイント



音読、朗読を活用し、文語文を正しく読む能力と古典への関心を

【誤答分析から取組への見通し】

- ◇ 音読や朗読を活用し、古文の特徴である仮名遣いの違いに注意したり、語のまとまりを意識したりしながら、文語文を正しく読む力を身に付けさせるとともに、古典への関心をもたせましょう。

現在の読み方と違う読み方をしている文字はどれでしょう。

「は」は「わ」と読むんだな。

鳥のとびいそぐ姿を見て、清少納言はどんな気持ちになっているかな。自分と比べて考えてみよう。

清少納言はしみじみしたものを感じている。私も、夕暮れに鳥が飛んでいるのを見ると何だかさびしくなる。今も昔も感じ方が似ているなあ。

〈 日常の授業改善に向けて 〉

1年「古典」の指導

- ◇ 古典に触れ、様々な種類の作品を知ることができるように指導の工夫をしましょう。

- ① 文語のきまり、訓読の仕方について、生徒の興味・関心を大切にしながら、教材に即して指導したり、必要があれば取り立てて指導したりしましょう。古典の文章を繰り返し音読して、五音、七音の繰り返しなどのリズムを味わえるようにしましょう。
- ② 和歌、俳諧、物語、随筆、漢文、漢詩や、能、狂言、歌舞伎、古典落語などの古典芸能などと小学校から親しんできた様々な古典とを結び付け、古典の世界についての新たな興味・関心を喚起させていきましょう。

2年「古典」の指導

- ◇ 朗読を通し、古典を楽しみ、古典に表れたものの見方や考え方に触れられるように指導の工夫をしましょう。

- ① 強弱や間、速度などを視点に朗読の仕方を工夫したり他の人の朗読を聞いたりすることで、作品について新たな発見をしたり興味・関心を深めたりすることができるような指導の工夫をしましょう。
- ② 「古典に表れたものの見方や考え方」に触れるために古典の易しい現代語訳や古典について解説した文章、関連する本、文章等の紹介、音声や映像メディアの活用など指導の工夫をしましょう。

中学校 2 年国語【五】解説シート

◆ 問題および正答

ノート			
最後	最初	聞き手の関心をひきつける (ア)	<p>問二 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。</p> <p style="text-align: center;">著作権の関係上、掲載できません。</p> <p style="text-align: center;">(池上彰「わかりやすく〈伝える〉技術」より)</p>
(ア)			

【五】この文章から、プレゼンテーションがまとまった印象を与えるポイントは何かについて次のようにノートにまとめました。(ア)に当てはまる言葉を、文章中から二〇字以内で書き抜き、の中に書きなさい。

〈正答〉【五】 もう一度おさらいしてから結論とする

◆ 出題の趣旨

叙述と叙述を関連付ながら読み、中心となる叙述について、作者の考えをつかむ力をみる。

◆ 学習指導要領との関連

・第2学年 読むこと イ

文章全体と部分との関係、例示や描写の効果、登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てること。

◆ P調査との関連

P調査【五】の類題

◆ 解答類型及び過去の調査における正答率

〈【五】解答類型〉

〈 人 % 〉

1◎	もう一度おさらいしてから結論とする		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

〈過去の調査における正答率〉

平成 22 年度 C 調査問題【五】 72.2%

平成 23 年度 P 調査問題【五】 26.7%

中学校 2 年国語【五】指導シート

〈 誤答分析 〉

【分析】 正答例以外の解答をしている生徒は何人いましたか。

- ・ 文章全体を通して述べていることと部分との関係が読み取れていないことが考えられます。

【確認】 視点をもって文章を読む学習をしていますか。

- ・ 各段落が文章全体の中で果たしている役割を意識して読んでいますか。

ここがポイント



視点をもって文章を読む学習を

【誤答分析から取組への見通し】

- ◇ 目的をもって文章を読み、文章を読み取る視点をもたせましょう。
- ◇ 文章に示されている具体的な例が書き手の論の展開の中で果たしている役割を考えさせましょう。

まとまった印象を与えるプレゼンテーションはどんなものか読み取ろう。

「最初に聞き手の関心をひきつけておいて、最後にもう一度おさらいしてから結論とする。」のところだな。

「最初」と「最後」を視点に二つの例を整理してみよう。

「最初」と「最後」の言葉に注目して整理すると分かりやすいな。

〈 日常の授業改善に向けて 〉

1年「読むこと」の指導

- ◇ 文章の中心的な部分と付加的な部分や事実と意見などを読み分けることで、内容を的確にとらえていけるように指導を工夫しましょう。

- ① 段落ごとに内容をとらえたり、段落相互の関係を正しく押さえたりしながら、さらに大きな意味のまとまりごとに、文章全体における役割をとらえさせていきましょう。
- ② 目的や必要に応じて大切な情報を選択し整理する学習を大切にしていきましょう。

2年「読むこと」の指導

- ◇ 文章の構成に着目して文章を解釈する力が身に付くように指導を工夫しましょう。

- ① 各段落が文章全体の中で果たす役割についてとらえ、叙述の順序が書き手の考えにどのような説得力をもたらしているかなどを考えながら読むことができる力を育てましょう。
- ② 文章中に示されている具体的な例が書き手の論の展開の中で果たしている役割を考えさせましょう。

中学校 2 年国語【六】・【七】解説シート

◆ 正答例

- (ア) 「あたり」「やま」「うちゅう」の順に広がっている
 (イ) 重なる

◆ 出題の趣旨

- 【六】 話合いの様子を表す資料と話合いを聞いてまとめた作文とを、作文に示された視点で対応させて読み、理由付けにつながる事実を選び出して記述する力をみる。
 【七】 前問を踏まえて、主張につながる理由付けをする力をみる。

◆ 学習指導要領との関連

- ・第1学年 書くこと ウ
 伝えたい事実や事柄について、自分の考えや気持ちを根拠を明確にして書くこと。
- ・第2学年 読むこと ウ
 文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをまとめること。

◆ P調査との関連

- 【六】 P調査【五】の類題 【七】 新たに加えた問題

◆ 解答類型及び過去の調査における正答率

< 【六】 解答類型 >

		人	%
1◎	三人の考えの「広さ」の違いをとらえて書いている (正答例) ・「あたり」「やま」「うちゅう」の順に広がっている ・声の響く広さが違っている ・(Aさんの)「うちゅう」が一番広い など		
2	1を満たしているが、「よい」「合っている」「ふさわしい」などの判断を表す言葉を使ってしまっている (誤答例) ・声の響く広さが違っているが、その中で「うちゅう」が一番よい		
3	1を満たしているが、前後の文につながるように書いていない		
4	1を満たしていない		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

<過去の調査における正答率>

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

平成 22 年度 P 調査問題【五】 25.6% 平成 22 年度 C 調査問題【七】 18.1%

平成 23 年度 P 調査問題【五】 26.7%

< 【七】 解答類型 >

		人	%
1◎	「重なる」「同じだ」「合っている」「いっしょだ」など、事実と主張をつなぐための判断を書いている（「違わない」などの否定的な書き方であっても正答とする）		
2	1を満たしているが、字数の条件や、前後につなげて書く条件に沿って書けていない		
3	1を満たしていない		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

<過去の調査における正答率>

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

平成 22 年度全国学力・学習状況調査 B 1 三 51.6% (全国) 43.6% (長野県)

中学校2年国語【六】【七】指導シート

〈 誤答分析 〉

【分析】各設問の解答類型の解答には、次のようなことが考えられます。

- ・【六】類型2→理由付けをする際の、事実や根拠と、判断や理由との関係をつかめていないことが考えられます。
- ・【六】類型3【七】類型2→条件にあわせて適切な表現ができないことが考えられます。
- ・【六】類型4→キーワードに着目して部分を比較したり関係付けたりして読むことができないことが考えられます。
- ・【七】類型3→自分に引き戻すなどして理由付けて、論理を組み立てることに慣れていないことが考えられます。

【確認】

- ・根拠となる事実を関係付けて考える学習が、日々の学習の中で行われていますか。
- ・根拠となる事実の関係から、理由を付けて考えを述べる場面が授業の中に位置付けられていますか。
- ・目的に応じて材料を選ぶなどの学習場面が位置付けられていますか。

ここがポイント



自分の考えをまとめ、交流し合う学習を

【誤答分析から取組への見通し】

- ◇ 表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをまとめ、交流する学習場面を設定しましょう。

「広さ」に着目して、3人の考えの相違点を整理しよう。

詩の空欄にどんな言葉が当てはまりそうか、自分の考えを書いてみよう。

「辺り一面」「山全体」「どこまでもどこまでも」という言葉が広さを表している。そして、「あたり」から「やま」、「うちゅう」へと、広さは増していく。

「うちゅう」が当てはまると思う。理由は、うぐいすとのコントラストがつくから。Dさんは「広さ」に着目しているが、「静けさ」に着目してみても「うちゅう」が最も差が大きくなり、コントラストの中で、うぐいすのひと声が強調されると思う。

〈 日常の授業改善に向けて 〉

2年「読むこと」に関する指導

◇ 自分の考えをまとめたり、発表したりする学習を

- ① 何について考えるか、何を明らかにするかなど具体的な場面を設定し、自分の考えをまとめる学習を、積極的に取り入れましょう。
- ② 自分の考えを支える根拠となる段落や部分、叙述などを指摘するだけでなく、それらの関係を判断したり、それらの関係の中から言えること考えたりして、文章の構成や展開、表現の仕方について、自分の考えをもてるようにしましょう。

1年「書くこと」に関する指導

◇ 根拠を明確にして書く学習を

- ① 文章の中の自分の考えや気持ちについての根拠や理由が明確に書かれているかどうか、常に吟味できるようにしましょう。そのために、学習カードや学習資料を工夫しましょう。
- ② 何を根拠としてどのような判断や理由が考えられるか、そして、判断したり理由付けたりしたことが自分の考えや主張に適切に結び付くかを確かめる授業場면을仕組みましょう。

中学校2年数学【1】解説シート

◆問題及び正答

【1】 $14 - 8 \div (-2)$ を計算しなさい。

正答 18

◆出題の趣旨

正の数と負の数の四則計算ができるかどうかをみるものである。ここでは、数を負の数にまで拡張した場合も、乗除先行に基づき、符号に気を付けて適切に計算することが求められる。

◆P調査との関連

P調査【1】 $25 - 5 \times (-4)$ の計算ができるかどうかをみる問題の類題。

◆学習指導要領との関連

第1学年 A 数と式

(1) 正の数と負の数について具体的な場面での活動を通して理解し、その四則計算ができるようにする。

イ 正の数と負の数の四則計算の意味を理解し、簡単な計算ができること。

◆解答類型及び過去の調査における正答率

<解答類型>

1◎	18 と解答しているもの	人	%
2	10 と解答しているもの		
3	-3 または 3 と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

調査結果を記入し、
気付いたことをメモ
しておきましょう。



◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

<過去の調査における正答率>

	問題	正答率
23年度 (P調査)	$25 - 5 \times (-4)$	76.0%
22年度 (C調査)	$12 - 5 \times (-4)$	76.8%
22年度 (P調査)	$9 - 3 \times (-2)$	73.7%
21年度 (C調査)	$18 - 12 \times (-3)$	74.7%
21年度 (P調査)	$12 - 6 \times (-2)$	72.9%

<類題>

平成19年度全国学力・学習状況調査

$8 - 5 \times (-6)$

正答率 77.1% (全国)
81.0% (長野県)

中学校2年数学【1】指導シート

ここがポイント

補充・補完指導



誤答を活用しましょう。

〈分析〉「 $14 - 8 \div (-2) = 10$ 」と答えている生徒は何人いましたか。

→ $8 \div (-2)$ を先に計算したものの、 $14 - (-4)$ を $14 - 4$ と計算していると考えられます。

「 $14 - 8 \div (-2) = -3$ または 3 」と答えている生徒は何人いましたか。

→ $14 - 8$ を先に計算していると考えられます。

〈確認〉数を正の数と負の数にまで拡張した場合も計算はできますか。

加減乗除を含む式の計算はできますか。

◇ 「 $14 - 8 \div (-2) = 10$ 」 や 「 $14 - 8 \div (-2) = -3$ 」 等の誤答を生かして、正の数・負の数を
含む計算の理解を深める場面を仕組みましょう。

「 $14 - 8 \div (-2)$ 」を10や
-3と計算した人は、どのよ
うに計算したのだろうか。

加減乗除を含む式の計算を
するとき気を付けることを
まとめよう。

「 $14 - 8 \div (-2) = 14 - 4 = 10$ 」と計算した。負の数のわり算
の符号を間違えた。

「 $14 - 8 \div (-2) = 6 \div (-2) = -3$ 」と計算した。計算の順
序が間違っている。

計算の順序や符号に気を付けて計算しよう。

途中の式を丁寧に書いて計算しよう。

1年「正の数・負の数」の指導

ここがポイント



途中の式を丁寧に書いたり、その意味を読み取ったりでき
るようにしましょう。

◇ 等号の意味を意識して式をつないでいくことが、定着していない生徒が多くいると考えられます。
また、計算の順序の決定と符号の処理の両方を同時に行うことで、混乱している場合もあります。

そこで、答えが合っているかどうかだけに
目を向けるのではなく、途中の式を丁寧に書き、
操作の目的に照らして、途中の式がその目的
に合った数値などを表わしているかを読み取
る活動を位置付けましょう。文字式や方程式の学習へのつながりからも、等号の意味を意識した
活動を位置付けることが大切です。

$$\begin{aligned} & 8 - 5 \times (-6) \\ & = 8 - (-30) \\ & = 8 + 30 \\ & = 38 \end{aligned}$$

乗除先行を示す式

負の符号の処理を示す式

ここがポイント

1, 2年「文字式の計算」の指導



文字式の意味を読み取る活動を取り入れましょう。

◇ 単に計算するだけでなく、計算過程を振り返り、文字式の計算がどのようなきまりをもとになさ
れているかを考えたり、文字式の意味を読みとる活動を取り入れたりする指導を工夫しましょう。

- ① 1年の「正の数・負の数」の学び直しを意識して、教具や教室環境を整えましょう。
- ② 式の値を求める場面で、誤りのある計算例を取り上げて計算方法を確認したり、計算過程を振
り返り、どんなきまりをもとに計算されているかを説明したりする学習を仕組みましょう。
- ③ 数量の関係を文字式で表現したり、表現された文字式の意味を読み取る活動を取り入れたりし
て、文字式の計算がどんなきまりをもとになされているかを理解できるようにしましょう。

中学校 2 年数学【2】解説シート

◆問題及び正答

【2】 連立方程式 $\begin{cases} x-2y=5 \\ 2x+y=5 \end{cases}$ を解きなさい。

正答 $(x, y) = (3, -1)$

◆出題の趣旨

連立方程式が解けるかどうかをみるものである。ここでは、係数をそろえるために一方の式の両辺に適当な数をかけて係数をそろえて加減法を用いたり、一方の式を自分で決めた文字について解き、代入法を用いたりして、一元一次方程式に帰着させて解いていくことが求められる。

◆P調査との関連

新規に加えた問題（中学校2年の範囲）

◆学習指導要領との関連

第2学年 A 数と式

- (2) 連立二元一次方程式について理解し、それを用いて考察することができるようにする。
ウ 簡単な連立二元一次方程式を解くこと及びそれを具体的な場面で活用すること。

◆解答類型及び過去の調査における正答率

<解答類型>

1 ◎	$(x,y)=(3,-1)$ と解答しているもの	人	%
2	$(x,y)=(5,0)$ と解答しているもの		
3	$(x,y)=(2,1)$ と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

調査結果を記入し、
気付いたことをメモ
しておきましょう。



<過去の調査における正答率>

	問題	正答率
22年度（C調査）	$\begin{cases} 2x-y=5 \\ x+2y=10 \end{cases}$	69.6%
21年度（C調査）	$\begin{cases} x-2y=5 \\ 2x+y=5 \end{cases}$	66.1%

中学校2年数学【2】指導シート

ここがポイント

補充・補完指導



誤答を活用しましょう。

【分析】 $(x,y)=(5,0)$ $(x,y)=(2,1)$ と答えている生徒は何人いましたか。

→係数をそろえるときに、両辺に同じ数をかけていないことが考えられます。

【確認】方程式の両辺に同じ数をかけることができますか。

等式の性質を理解していますか。

◇ $(x,y)=(5,0)$ や $(x,y)=(2,1)$ の誤答を生かして、加減法を用いた連立方程式の解き方の理解を深める場面を仕組みましょう。

「 $(x,y)=(5,0)$ 」の計算は
どこが間違っているのだろうか。

$x-2y=5$ の両辺に2をかけるときに、 $2x-4y=5$
とし、右辺に2をかけるのを忘れている。

「 $(x,y)=(2,1)$ 」の計算は
どこが間違っているのだろうか。

$2x+y=5$ の両辺に2をかけるときに、 $4x+2y=5$
とし、右辺に2をかけるのを忘れている。

加減法の計算をするときに気をつける
ことをまとめよう。

式に数をかけるときは、両辺の全ての項にかけ
るようにしよう。等式の性質を意識しよう。

ここがポイント

2年「連立方程式」の指導



加減法の仕組みを等式の性質をもとに深めましょう。

◇等式の性質を基に、加減法の仕組みを理解できるようにしましょう。

加減法では、一方の文字を消去するために、二つの二元一次方程式をたしたり、ひいたりしますが、それは、等式の両辺に同じ数をたしても、ひいても等式は成り立つということを根拠としています。

授業の中で、「なぜ、二つの方程式をたしたり、ひいたりしてもよいのだろう」という問いかけをするなどして、答式の性質を活用しているよさを実感させ、加減法の仕組みを理解していけるような展開を心がけましょう。1年で学習した等式の性質を、連立方程式の単元で学び直していくことができます。

ここがポイント

1～3年「方程式」の指導



既習の解き方に帰着させることを意識させましょう。

◇方程式の解き方を、それまでに学習した考え方をもとにして、生徒が発見していけるような展開を工夫しましょう。

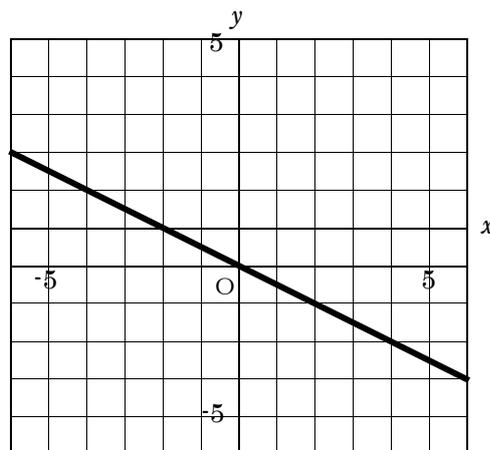
- ①1年の「方程式」で学んだ等式の性質や、移項などの学び直しを意識して、「連立方程式」「二次方程式」の授業を展開していきましょう。
- ②「連立方程式」では、文字を消去することで、1年で学んだ一元一次方程式に帰着できることや、消去する際に、等式の性質を利用していることなどを意識させましょう。
- ③「二次方程式」では、平方根の考え方に帰着させれば解が求まることを、単元を通して意識させましょう。

中学校 2 年数学【3】 解説シート

◆問題及び正答

【3】 比例の関係 $y = -\frac{1}{2}x$ のグラフをかきなさい。

正答 右のグラフのとおり



◆出題の趣旨

式を基に、比例の関係をグラフに表すことができるかどうかをみるものである。ここでは、式を満たす x, y の組が座標に対応すること、比例のグラフの特徴や比例定数の違いによるグラフの形の違いを理解していることが求められる。

◆P調査との関連

P調査【2】 式をもとに、比例の関係をグラフに表すことができるかどうかをみる問題の類題。

◆学習指導要領との関連

第1学年 C 数量関係

(1) 具体的な事象の中にある二つの数量の変化や対応を調べることを通して、比例、反比例の関係を見だし表現し考察する能力を伸ばす。

ウ 比例、反比例を表、式、グラフなどで表し、それらの特徴を理解すること。

◆解答類型及び過去の調査における正答率

<解答類型>

1◎	$y = -\frac{1}{2}x$ のグラフをかいているもの (フリーハンドも可)	人	%
2	$y = \frac{1}{2}x$ のグラフをかいているもの		
3	$y = -2x$ のグラフをかいているもの		
4	$y = 2x$ のグラフをかいているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

<過去の調査における正答率>

	問題	正答率		問題	正答率
H23 P調査	$y = -2x$ のグラフをかきなさい。	55.3%			
H22 P調査	$y = -2x$ のグラフをかきなさい。	54.6%	H22 C調査	$y = -\frac{1}{2}x$ のグラフをかきなさい。	71.6%
H21 P調査	$y = -2x$ のグラフをかきなさい。	58.9%	H21 C調査	$y = -\frac{1}{2}x$ のグラフをかきなさい。	73.5%

中学校2年数学【3】指導シート

ここがポイント

補充・補完指導



誤答を活用しましょう。

〈分析〉 $y = \frac{1}{2}x$, $y = -2x$, $y = 2x$ のグラフをかいている生徒は何人いましたか。

→ 比例定数とグラフの形が結びついていないことが考えられます。

〈確認〉 式に当てはまる x , y の値の組を見付けることができますか。

x , y の値の組を座標とする点をとることができますか。

→ $x = 2$ のとき, $y = -1 \rightarrow (2, -1)$, $x = 4$ のとき, $y = -2 \rightarrow (4, -2) \dots$

◇ 比例定数とグラフの形の組合せを考える活動を通して、比例のグラフの特徴を確認しましょう。

式のどこに着目すれば、グラフの形が分かるか説明しよう。

表をつくって

比例定数の符号、絶対値に着目して

いくつかの点をとれば、グラフがかけるかな。

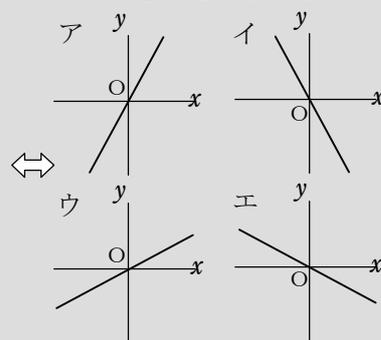
原点ともう1つの点を取り、これらを通る直線をひけばよい。

① $y = 2x$

② $y = \frac{1}{2}x$

③ $y = -2x$

④ $y = -\frac{1}{2}x$



1年「比例と反比例」の指導

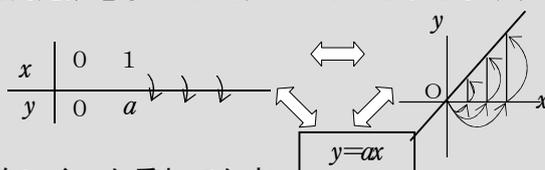
ここがポイント



比例定数に着目してグラフの特徴を見付けていきましょう。

◇ 表、式、グラフを相互に関連付けて、多様な方法で比例定数を求めたり確かめたりしましょう。

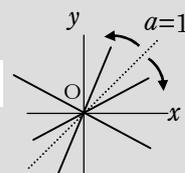
表の縦（対応）の見方から
グラフから具体的な座標を読み取って
表やグラフから x , y の値の増加量の割合を求めて



◇ 比例定数 $a = 1$ を基準として、 a の値の異なるグラフをいくつか重ねてかき、 a の値の違いによるグラフの共通点や相違点を考察する学習を仕組みましょう。

どのグラフにも共通していることはなんだろう。 → どれも原点を通る直線になる。

$y = x$ のグラフを原点を中心に回転させて、 a の値の変化を調べよう。



2年「一次関数」の指導

ここがポイント



「変化の割合」の意味の確実な理解を図りましょう。

◇ 3年間の関数の学習を見通して、新しい関数を学習するたびに、比例定数に着目して既習の関数と対比し、表、式、グラフを関連付けて特徴をまとめる学び直しの機会を設けましょう。

例えば、変化の割合について指導する際に、1年で扱った「反比例」を取り上げ、そのグラフが直線にならない理由について説明することを通して、「変化の割合が一定 ⇔ グラフが直線 ⇔ 比例定数 a 」について、より深く理解できるようにしましょう。

比例や一次関数のグラフは直線になるが、反比例のグラフは直線にならない理由を説明しよう。

2年「一次関数」 変化の割合の指導

1年「反比例」
変化の様子やグラフの形状
変化の割合が一定でない関数の存在

中学校 2 年数学【4】解説シート

◆問題及び正答

【4】 二元一次方程式 $x-y=2$ の解である x, y の値の組について、下のアからエの中から正しいものを1つ選びなさい。

- ア 解である x, y の値の組はない。
- イ 解である x, y の値の組は1つだけある。
- ウ 解である x, y の値の組は2つだけある。
- エ 解である x, y の値の組は無数にある。

正答 エ

◆出題の趣旨

二元一次方程式の解の意味を理解しているかどうかをみる。

◆P調査との関連

P調査【2】 一元一次方程式の解の意味を理解しているかどうかをみる問題の類題。

◆学習指導要領との関連

第2学年 A 数と式

(2) 連立二元一次方程式について理解し、それを用いることができるようにする。

ア 二元一次方程式とその解の意味を理解すること。

◆解答類型及び過去の調査における正答率

<解答類型>

1	ア と解答しているもの	人	%
2	イ と解答しているもの		
3	ウ と解答しているもの		
4◎	エ と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

<過去の調査における正答率>

平成 20 年度全国学力・学習状況調査 類題

正答率 59.1%

一元一次方程式の解の意味を理解しているかどうかをみる問題。

	正答率
23 年度 (P 調査)	61.2%

中学校2年数学【4】指導シート

ここがポイント

補充・補完指導



誤答を活用しましょう。

〈分析〉選択肢「エ」以外を選択している生徒は何人いましたか。

→二元一次方程式の解が、その方程式を成り立たせる x, y の組であることの理解ができていない生徒がいると考えられます。

〈確認〉二元一次方程式の解の組を複数挙げるができますか。

◇二元一次方程式の解が等式を成り立たせる数の組であることや、解が無数にあることを理解できるような活動を位置付けましょう。

二元一次方程式にいろいろな数を代入してみましょう。

$x-y=2$ の左辺の x, y にいろいろな数を代入すると、右辺の2に等しくなる場合とならない場合がある。

$x-y=2$ が成り立つ x と y の組合せを求めましょう。

$x-y=2$ となる x, y の組合せは、 $(3,1), (2,0), (1,-1)$ …などがある。

$x-y=2$ が成り立つ x と y の組合せはいくつあるでしょう。

$x-y=2$ となる x, y の組合せは、小数の組合せなども考えれば無数にあることがわかった。

2年「一次関数」の指導

ここがポイント



一次関数のグラフの学習の中で、二元一次方程式の解の意味の学び直しをしましょう。

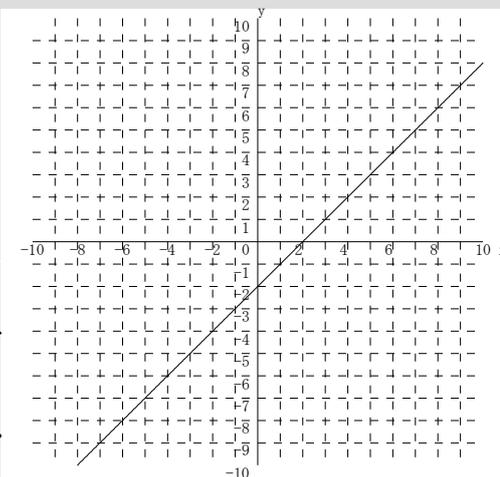
◇一次関数のグラフの学習の中で、二元一次方程式の解が無数にあることを確かめましょう。

例えば、 $x-y=2$ を一次関数の式 $y=x-2$ と見て、直線のグラフとして表すことで、その直線が通る格子点だけではなく、その直線上にあるすべての点が解であることを確かめる活動を取り入れることが考えられます。

$x-y=2$ の解を座標とする点を方眼にとりましょう。

とった点は、どのように並んでいますか。

一次関数 $y=x-2$ のグラフと比べて、どんなことが言えますか。



3年「二次方程式」の指導

ここがポイント



形式的な処理の習熟だけでなく、方程式やその解の意味、解く手続きの意味について、様々な場面で理解を深めましょう。

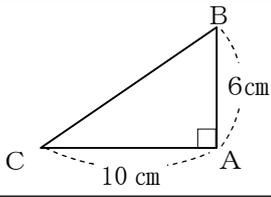
◇二次方程式の解の意味を、平方根の考え方をもとに意識させていきましょう。

二次方程式の解き方を学ぶ学習では、 $x^2=k$, $(x+a)^2=b$, $x^2+ax+b=0$ など、いろいろなタイプの二次方程式の解き方を考えていきますが、因数分解による解き方を除き、式変形は $()^2 = k$ の形に帰着させていることを生徒に意識させ、「2乗して k となるもとの2数は $\pm\sqrt{k}$ である」という平方根の考え方をもとにしていることの意味を深めていくことも大切です。

中学校2年数学【5】解説シート

◆問題及び正答

【5】下の図のような直角三角形ABCを、直線ABを軸として1回転させて立体をつくります。できる立体の体積を求めなさい。ただし、円周率は π とします。



正答 $200\pi \text{ cm}^3$

◆出題の趣旨

直角三角形の一边を軸とする回転によって円錐が構成されることを理解しているかどうかをみるものである。ここでは、回転の軸に対応して底辺と高さを見だし、体積を計算できることが求められる。

◆P調査との関連

P調査【4】直線ABを軸として回転した場合の回転体の見取図と体積を求める問題。

◆学習指導要領との関連

第1学年 B 図形

(2) 図形を観察、操作や実験を通して考察し、空間図形についての理解を深める。また、図形の計量の能力を伸ばす。

イ 空間図形を直線や平面図形の運動によって構成されているものにとらえたり空間図形を平面上に表現したりすることができること。

ウ 扇形の弧の長さや面積及び基本的な柱体、錐体の表面積と体積を求めることができること。

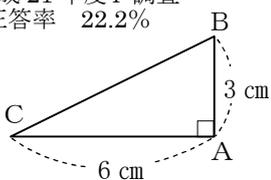
◆解答類型及び過去の調査における正答率

<解答類型>

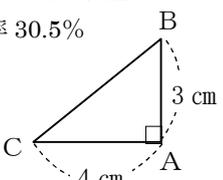
1◎	200 π と解答しているもの	人	%
2	200 と解答しているもの		
3	600 $\pi \cdot 600$ と解答しているもの		
4	120 $\pi \cdot 40\pi \cdot 120 \cdot 40$ と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎ 解答として求める条件をすべて満たしている正答

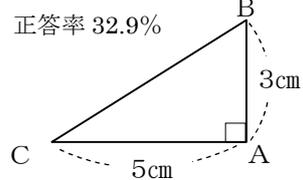
平成21年度P調査
正答率 22.2%



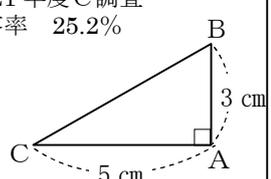
平成22年度P調査
正答率 30.5%



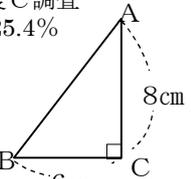
平成23年度P調査
正答率 32.9%



平成21年度C調査
正答率 25.2%



平成22年度C調査
正答率 25.4%



中学校2年数学【5】指導シート

ここがポイント

補充・補完指導



誤答を活用しましょう。

〈分析〉「体積が正しく求められていない」生徒は何人いましたか。

→類型2： π を付け忘れていました。類型3： $1/3$ をかけ忘れていました。類型4：円の面積を求める代わりに円周を求めています。

〈確認〉円柱と円錐の体積の関係は理解できていますか。

◇「体積を正しく求められていない」誤答を生かして、体積の理解を深める場面を仕組みましょう。

ABを軸として1回転するとどんな立体になるか、見取図をかいてみよう。

ABを軸として回転するから、底面は半径ACの円、高さがABの円錐だ。

円錐の体積はどうやって求めればよかったのだろうか。

水を円錐から円柱に移したら3杯入ったぞ。底面と高さが等しい円錐と円柱の体積比は1:3だ。

体積を求めるときに、気を付けたり工夫したりすることをまとめよう。

底面と高さがどこになるかをはっきりさせよう。錐体と柱体の体積の関係を正しく理解しよう。

ここがポイント

1年「空間図形」の指導



実験や実測を通して、実感を伴って理解できるようにする。

◇空間図形の学習では、実験や実測を通して、実感を伴って理解できるようにしましょう。

例えば、水を円錐から円柱に移すとき、予想を立て、実験や実測を通して確かめる活動や、実測から円錐の体積の求め方を説明する活動を取り入れるような指導を工夫しましょう。

円柱の容器には、円錐の容器の何杯分の水が入りそうかな。

はじめは2杯入ると予想していたが、ちょうど3杯入った。見た目ではダメだ。

実測結果から円錐の体積の求め方を、円柱の体積の求め方を基に説明しよう。

2年「式の計算」の指導

ここがポイント



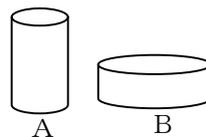
立体の体積を、文字を使って表し対比する学習をしましょう。

◇底面の半径と高さが違う立体の体積を文字を使って表し対比することで、体積の求め方について学び直しの場面を意図した授業をしましょう。

①立体の体積の学び直しの場面を設定して、教具や教室環境を整えましょう。

②底面の半径が r 、高さが h の円柱Aと、円柱Aの底面の半径を2倍にし、高さを半分にした円柱Bでは体積の関係はどうなるかを考える場面で、予想を立て、具体的な数値を用いて体積を求めたり、文字を使って体積が等しくならない理由を説明したりするなど、半径と高さに着目して体積をとらえる活動を取り入れましょう。

③上記の問題の「円柱」を「円錐」に変え、同様に考察し、説明する活動を位置付けることが、理解を深めるために有効です。

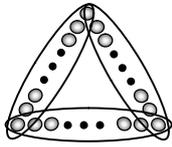
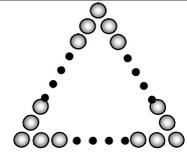


底面の半径を2倍にし、高さを半分にしたのに、なぜ体積は等しくならないのかな。

中学校2年数学【6】解説シート

◆問題及び正答

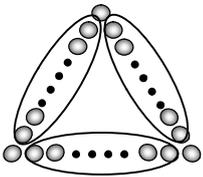
【5】右の図のように1辺に同じ個数のご石を並べて、正三角形をつくります。はなこさんは、1辺に並べるとご石の個数を x 個として、全体のご石の個数を $3x - 3$ （個）と $3(x - 2) + 3$ （個）の2つの式で表しました。そして、 $3x - 3$ （個）について、どのようにご石を囲んで考えたのかを、下の図のように説明しました。



【説明】 $3x$ の x は、左の図の○のことです。それが3つあるので3倍します。3を引くのは、○でのご石の数を数えると3つの頂点のご石を2回数えてしまうからです。だから全体のご石の個数は $3x - 3$ （個）と表せます。

$3(x - 2) + 3$ （個）について、どのようにご石を囲んで考えたのかを、上の【説明】を参考にして説明しなさい。

正答例



$3(x - 2)$ の $x - 2$ は、左の図の○のことです。{一辺から両端のご石を除いた個数です。}それが3つあるので3倍します。

3を加えるのは、○でのご石の数を数えると3つの頂点のご石を数えないからです。{3つのご石があまるからです。}

だから、全体のご石の個数は、 $3(x - 2) + 3$ （個）と表せます。

- ・矢印などで説明を補っているものも可とする。
- ・{ } のような内容でも可とする。

◆出題の趣旨

与えられた文字式の意味を、具体的な事象の中で読み取ることができるかどうかをみる。ここでは、式に対応するまとまりを図の中に見いだすことができるかどうかをみる。

◆P調査との関連

P調査【5】正方形に並べたご石の個数を表した文字式の意味を読み取る問題の類題。
(正答率 28.0%)

◆学習指導要領との関連

第1学年 A 数と式

(2) 文字を用いて数量の関係や法則などを式に表現したり式の意味を読み取ったりする能力を培うとともに、文字を用いた式の計算ができるようにする。

エ 数量の関係や法則などを文字を用いた式に表すことができることを理解し、式を用いて表したり読み取ったりすること。

◆解答類型 (①, ②, ③, ④は、右の正答の条件による)

1◎	①, ②, ③, ④を満たしているもの	人	%
2○	①または②と, ③, ④を満たしているもの		
3○	①, ②, ③を満たし, ④を満たしていないもの		
4○	①または②と, ③を満たし, ④を満たしていないもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

(正答の条件)

次の①, ②, ③, ④と同等の内容を記述している。

- ①: 図を囲んで $x - 2$ の意味を説明している。
- ②: (図を囲んで) $3(x - 2)$ が $(x - 2)$ の3倍であることを説明している。
- ③: $+3$ の意味を説明している。
- ④: 結論「だから～」を記述している。

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答 ○設問の趣旨に即し必要な条件を満たしている正答(準正答)

中学校2年数学【6】指導シート

ここがポイント

補充・補完指導



無解答の生徒の理解の状況を丁寧に把握しましょう。

〈分析〉無解答の生徒は何人いましたか。

→20年度の県学力実態調査では、記述式の問題の無解答率は15%程度となっています。

〈確認〉文字式を書くときの約束を理解していますか。

「 $x-2$ 」が、図の一边からご石を2つ取った部分の個数を表わす式であることを説明できますか。

◇ご石の数が $3x-3$ (個) でよいかどうかを図と式などを用いて確かめるよう促し、互いが表した図や式をもとに、ご石の数をどのように数えたのか、図や式を読んで説明し合う場面を設けましょう。

ご石の個数の数え方をいろいろ考えて式に表そう。

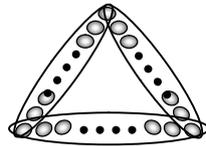
友だちの式を見て、どのように考えたのか説明し合おう。

$$3x-3$$

$$3(x-1)$$

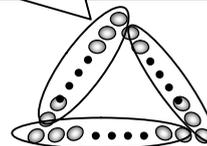
$$3(x-2)+3$$

x 個が3つ。頂点の重なり分を引く。



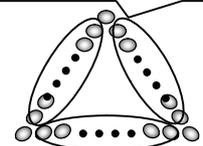
$$3x-3$$

重なりを作らないように $x-1$ のまとまりを作って3倍する。



$$3(x-1)$$

頂点を除いて $x-2$ のまとまりを3倍し、あとで頂点分をたす。



$$3(x-2)+3$$

ここがポイント

1年「文字を用いた式」の指導



文字と数の行き来を繰り返し行いましょう。

◇文字式を理解したり用いたりすることは、数学学習の基盤ですが、生徒にとって教師が考える以上に高いハードルであることを前提に、丁寧に指導しましょう。導入段階での指導にあたっては、具体(数)と抽象(文字)の行き来を繰り返すことで、文字のもつ意味、特に変数の意味を理解できるようにすることが大切です。

その際、数と文字をすぐにつなぐのではなく、言葉の式に表したり、○や□などの記号に表したりしながら、文字のもつ一般性について丁寧に取り扱い、漸次理解できるようにしましょう。

$$\begin{array}{l}
 1 = 2 \times 0 + 1 \\
 3 = 2 \times 1 + 1 \\
 5 = 2 \times 2 + 1 \\
 \vdots \\
 (\text{奇数}) = 2 \times n + 1
 \end{array}$$

変わらない部分
はどこだろう。
 $2 \times (\text{整数}) + 1$
 $2 \times \square + 1$

ここがポイント

2年「文字を用いた式」の指導



文字を用いた式でとらえ説明する活動を充実させましょう。

◇ある命題が成り立つことを、文字を用いた式で説明する場面で、文字を用いて表現したり、文字を用いた式の意味を読み取ったり、目的に応じて式を変形したりする学習を行いましょ。

①文字を用いた式で表す

②目的に応じて変形する

③式の意味を読み取る

④結論付ける

例) 「2つの奇数の和は偶数である」ことの説明

- ① 2つの奇数を、整数を表す文字 m , n を使って、 $2m+1$, $2n+1$ と表す。
- ② 2つの奇数の和 $(2m+1)+(2n+1)$ を計算し、その結果 $2m+2n+2$ を、 $2(m+n+1)$ の形に変形する。
- ③ ②で得られた式を $2 \times (\text{整数})$ とみて、偶数を表していることを読み取る。
- ④ ③のことから、2つの奇数の和が偶数になることが分かる。

中学校2年数学【7】解説シート

◆問題及び設定正答率

【7】たろうさんは、右の表を見て「奇数と偶数の和は奇数になる」と予想しました。たろうさんは、その予想が正しいことを下のように説明しました。下の説明を完成させなさい。

1 + 2 = 3
3 + 8 = 11
31 + 82 = 113
⋮

正答例

<説明> m, n を整数とすると、奇数と偶数はそれぞれ $2m+1, 2n$ と表すことができる。したがってそれらの和は

$$(2m+1) + 2n$$

$$= 2m + 1 + 2n$$

$$= 2(m+n) + 1$$

$m+n$ は整数だから、これは奇数である。

よって、奇数と偶数の和は奇数になる。

◆出題の趣旨

具体的な事象について、文字式を用いて説明することができるかどうかをみるものである。ここでは、奇数と偶数を整数 m, n を用いて表してその和を計算し、その式を目的に応じて適切に変形して、奇数であることを記述することが求められる。

◆P調査との関連

新規に加えた問題（中学校2年の範囲）

◆学習指導要領との関連

第2学年 A 数と式

(1) 事象の中に数量の関係を見だし、それを文字を用いて式に表現し活用する能力を伸ばすとともに、文字を用いた式の四則計算ができるようにする。

イ 数量及び数量の関係をとらえるために文字式を利用できることを理解すること。

ウ 目的に応じて、簡単な式を変形できること。

◆解答類型

<解答類型> (①, ②, ③, ④は、右の正答の条件による)

1○		①, ② の両方を記述しているもの	人	%
2○	$2(m+n)+1$	①, ② のどちらか一方を記述しているもの		
3○		①, ② のどちらも記述していないもの		
4		①, ② の記述に誤りがあるもの		
5○	$2m+2n+1$	③, ④の両方を記述しているもの		
6		③を記述しているもの		
7		③の記述がなかったり誤りがあるもの		
9	上記以外の解答			
0	無解答			

(正答の条件)

< $2(m+n)+1$ と表している場合>
 次の①, ②と同等の内容を記述している。
 ① $m+n$ は整数だから、
 ② (これは) 奇数である。
 < $2m+2n+1$ と表している場合>
 次の③, ④と同等の内容を記述している。
 ③ $2m+2n+1$ を2で割ると、1あまる。
 ④ (これは) 奇数である。

○解答として求める条件をすべて満たしている正答 ○設問の趣旨に即し必要な条件を満たしている正答(準正答)

中学校 2 年数学【7】指導シート

ここがポイント

補充・補完指導



正答しなかった生徒の理解の状況を丁寧に把握しましょう。

〈分析〉結論や根拠が書けていない生徒は何人いましたか。

→ 和が奇数になることを、 $2 \times (\text{整数}) + 1$ と結び付けて説明することができていません。

〈確認〉事柄が一般的に成り立つことを説明するために、結論とその根拠を、文字式や言葉を用いて的確に記述することができていますか。

◇数の性質が成り立つ理由を説明するために、見通しをもつことを大切にしましょう。

(見通し)

奇数であることを説明するためには、式を $2 \times (\text{整数}) + 1$ の形にすればよい。

$$2m+2n+1$$

$$=2(m+n)+1$$

←これなら、 $2 \times (\text{整数}) + 1$ という形になって、奇数であることがよく伝わる。

◇さらに、結論とその根拠を的確に記述することを大切にしましょう。

結論「 $2(m+n)+1$ は奇数である」と表し、その根拠「 $m+n$ が整数である」を記述すると、よりの確な説明になる。

$m+n$ は整数だから、 $2(m+n)+1$ は奇数である。

←その式をどのように読むのかが言葉になっていて、より分かりやすい説明になる。

2 年「文字を用いた式」の指導

ここがポイント



具体数で考えたり、図をかいたりして数量の関係をとらえながら、文字式で表す過程を意識できるようにしましょう。

◇文字式を用いて事象を説明することは、生徒にとって高いハードルであることを前提に、丁寧な学習を行いましょ。

事象の中に出てくる数量を文字式で表す際には、具体的な数で考えたり、図をかいたりしながら、式の意味を理解できるようにすることが大切です。偶数や奇数を文字式で表す際には、具体数で数の仕組みを理解しながら文字に置き換えるように指導しましょう。

偶数：-2, 0, 2, 4, ...

↓ ↓ ↓ ↓

$2 \times (-1), 2 \times 0, 2 \times 1, 2 \times 2, \dots$

n を整数とすると、 $2 \times n = 2n$

奇数：-1, 1, 3, ...

↓ ↓ ↓

$2 \times (-1) + 1, 2 \times 0 + 1, 2 \times 1 + 1, \dots$

m を整数とすると、 $2 \times m + 1 = 2m + 1$

3 年「文字を用いた式」の指導

ここがポイント



文字を用いた式でとらえ、説明する活動を充実させましょう。

◇ある命題が成り立つことを説明する場面で、文字を用いて表現したり、文字を用いた式の意味を読み取ったり、計算したりする活動を位置付けましょう。

①文字を用いた式で表す



②目的に応じて変形する



③式の意味を読み取る



④結論付ける

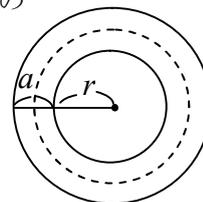
例) 「半径 r の円形の花だんの周りに、右の図のように幅 a の道がついています。この道の面積を S 、道のまん中を通る円周の長さを l とすると、 $S = a l$ となる」ことの説明

① $S = \pi(a+r)^2 - \pi r^2$, $l = \pi a + 2\pi r$

② $S = \pi a^2 + 2\pi ar$,

③ $a l = \pi a^2 + 2\pi ar$ これは S と同じ式、つまり面積を表している。

④ よって、 $S = a l$ となる。



中学校2年英語【1】解説シート

◆問題及び正答

①(going / you / to / am / tell / I) about myself.

【1】下線部①が意味の通る英文になるように、()内の語を、並べかえて書きなさい。
ただし、文の始めにくる語は、最初の文字を大文字になおして書きなさい。

正答 I am going to tell you) about myself.

◆出題の趣旨

助動詞などを用いた未来表現 [主語+be 動詞+going to+動詞の原形]の定着をみるものである。ここでは、going に着目し、前後の文から「自己紹介をする」という内容になることをとらえ、そのためには、未来表現を使い、その語順に並べかえることが求められる。また、[tell+ 目的語]の定着もみるものである。

◆P調査との関連

He can play baseball very well.の並びかえで、[主語+動詞+目的語]の語順と助動詞の理解ができていのかどうかをみるP調査【2】の類題である。

◆学習指導要領との関連

(3) 言語材料 エ 文法事項

(エ) 動詞の時制など <助動詞などを用いた未来表現>

We are going to play basketball after school. など。

◆解答類型及び過去の調査における正答率

<解答類型> ◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

1◎	I am going to tell you と解答しているもの	人	%
2	I am going to you tell と解答しているもの		
3	I am going までできているがその後の語順が違って解答しているもの		
4	You を主語として解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無回答		

<過去の調査における類題の正答率>

	正答率	問 題
22年度P問題	64.7%	(can / well / she / Japanese / very / speak).
22年度C問題	57.3%	(Japanese / well / Mike's father / speak / can / very).
23年度P問題	76.1%	(very / basketball / plays / he / well).

中学校2年英語【1】指導シート

補充・補完指導

ここがポイント



未来表現 (be going to～) の語順を定着させる工夫をしましょう。

【分析】解答類型 2, 3, 9 の生徒は何人いましたか。

【確認】①未来形の文型 [主語 + be 動詞 going to + 動詞の原形] の語順が定着していますか。
②tell + 人 (you の目的格) というまとまりでとられましたか。

◇時制を意識させて、主語・動詞をかえて口頭練習を繰り返し行い、語順の定着を図りましょう。

未来形の文の形を確認しましょう。

主語 + **be 動詞 going to** + 動詞の原形 だな。

基本文 I watch TV after dinner.

この基本文を、これから言うキーワード
<主語, 動詞, 時> を使って、未来形の文
にかえて言ってみましょう。

<キーワード> he, tonight >

→ He is going to watch TV tonight.

<キーワード> You, visit Tokyo, tomorrow >

→ You are going to visit Tokyo tomorrow.

※こうした口頭練習を繰り返していく。

2年【主語 + 動詞】の語順の指導

ここがポイント



英語と日本語の語順の違いを意識させましょう。

◇英語と日本語を比べながら、その文構造の違いを意識させて理解につなげていきましょう。特に語順については [主語 + 動詞] のまとまりを意識させた口頭練習を中心に繰り返し行うことが大切です。

この日本語を英文にしてみよう。(板書)
「ケン is 昨夜英語を勉強しました。」

英文は、[主語 + 動詞] の順に並べるんだ。この文に英語を当てはめていこう。

まず主語と動詞になる語を見つけよう。

「～は、～が」が主語だから「Ken」。
「～した」が動詞だから「studied」。

書いた文の主語に _____, 動詞に _____, を付けて語順を確認し、口頭練習しましょう。

ケンは昨夜英語を勉強しました。
Ken studied English last night.

3年 後置修飾のある文の語順指導

ここがポイント



修飾する語と意味の関係をおさえての練習を。

◇語数の多い複雑な文 (5語以上) を繰り返し扱うようにし、慣れさせていきましょう。

- ① 1, 2年での既習表現を日本語との違いから確認できる活動を授業に位置付けましょう。
- ② 平易な文構造をもつ英文から、複雑な文構造をもつ英文へと繰り返し練習を行いましょ。



I listen to the CD every day.

I listen to the CD after I finish my homework.

I listen to the CD my father bought in Korea.

I listen to the CD which was sent by my father in Korea.

- ③ 1時間の終末に、その時間に学んだ表現を用いて、語順を確認するための書く活動を位置付けましょう。

中学校 2 年英語【2】解説シート

◆問題及び正答

She is ②(work) at a restaurant.

【2】 下線部②の () 内の語を，最も適切な形になおして，1 語で書きなさい。

正答 working

◆出題の趣旨

時制に応じて動詞を活用できるかどうかをみる問題である。ここでは，前文までの内容と直前にある be 動詞の is から判断して，直後の一般動詞(現在)の語尾に ing をつけることが求められる。

◆P 調査との関連

He is helping her. の現在進行形の用法が理解できているかどうかをみる P 調査【1】の類題である。(help → helping)

◆学習指導要領との関連

(3) 言語材料 エ 文法事項

(エ) 動詞の時制など

現在形，過去形，現在進行形，過去進行形，現在完了形及び助動詞などを用いた未来表現
My mother is talking on the phone. など。

◆解答類型及び過去の調査における正答率

<解答類型> ◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

1◎	working と解答しているもの	人	%
2	worked と解答しているもの		
3	works と解答しているもの		
4	work と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

調査結果を記入し，
気付いたことをメモ
しておきましょう。



<過去の調査における類題の正答率>

	正答率	問 題
21 年度 C 問題	13.1%	Now Ken and Taro (<u>go</u>) to different high schools.
22 年度 P 問題	81.6%	She (<u>like</u>) Japan.
23 年度 P 問題	53.4%	He is (<u>help</u>) her.

中学校2年英語【2】指導シート

補充・補完指導

ここがポイント



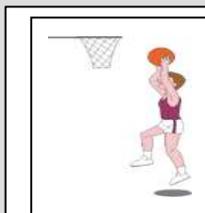
現在進行形の定着が十分図られていますか。

【分析】「She is worked (または works) ~」と答えている生徒は何人いましたか。

【確認】[be 動詞+動詞 ing] の言語材料が定着していますか。

be 動詞の文と一般動詞の文のつくりや意味の違いが分かり、使い分けができていますか。

◇絵や写真などを示し、現在行われていることを言う表現（現在進行形）の型 [主語+be 動詞+動詞 ing ~]のまとまりを、口頭練習を十分に行うことで理解させ、確実に定着させましょう。



I
You
Ken
Ken and I
My brother 等

I am playing basketball.
You are playing basketball.
Ken is playing basketball.
Ken and I are playing basketball.かな。
My brother is playing basketball.だな。

練習をして、気付いたり分かったりしたことをまとめよう。そう、be 動詞の変化だね。

主語によって今までの文と同じように、be 動詞の形も変わるんだな。

1年「be 動詞 と 一般動詞を使った文」の指導で

ここがポイント



動詞の意味に着目させましょう。

◇主として be 動詞は「～である。」「～にいる。」一般動詞は「～する。」という意味を表し、伝えようとする内容から、どちらを使うかを判断していくことを理解させ、口頭練習や書く練習で定着させましょう。

自分について、名前、出身、年齢を入れて英語で紹介しましょう。

I am Shin. I am from Ina. I am twelve. I am very *genki*. 全部 be 動詞で表せるな。

紹介文に、自分のよくすること、好きなことを表す英文を加えましょう。

「すること」だから、一般動詞を使えばいいな。
I am play でなくて I play で書けばいい。

一般動詞と be 動詞の入った文の違いがわかったかな。

「～です。」のときが be 動詞で、「～します。」の 때가、一般動詞だな。しっかり区別しよう。

3年「受け身」の指導で

ここがポイント



既習表現と関連させて動詞の形を整理しましょう。

◇現在（過去）進行形の語順が[be 動詞+動詞 ing] となり、受け身の語順が[be 動詞+過去分詞] となるということを、既習の表現と比較する中で整理し理解させましょう。

①英文を理解したり表現したりするためには、**主語+動詞**に着目することが大切であることを、意味や語順を意識した練習を繰り返すことで理解し定着させていきましょう。

②受け身を使って表現する活動では、「何(主語)」が「～される(た)」という意味を**主語+be 動詞+過去分詞**のまとまりでとらえさせ、既習の現在進行形等の語順と比較させる中で表現させ定着を図りましょう。

③書く活動を行う際には、互いに書いたものを読み合う場面を位置付け、「主語と動詞の関係」や「時制」を観点に見返すように助言しましょう。

中学校 2 年英語【3】解説シート

◆問題及び正答

- | | |
|---|-------------------------------|
| ア | She is a high school student. |
| イ | She lives with us. |
| ウ | She is a doctor. |
| エ | She is a college student. |

【3】前後の文のつながりを考えて、(③) 内に当てはまる最も適切な文をア～エの中から一つ選び、記号を書きなさい。

正答 エ

◆出題の趣旨

英語で書かれた本文の内容について、大まかな流れをつかみながら読み取ることができるか。また、前後の英文のつながりに注意しながら、選択肢の中から適切な英文を選択することができるかどうかをみる問題である。

◆P調査との関連

新規に加えた問題。

◆学習指導要領との関連

- (1) 言語活動 (ア) 言語活動の指導事項
- ウ 読むこと (ウ) 物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること。
- エ 書くこと (オ) 自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりなどに注意して文章を書くこと。

◆解答類型及び過去の調査における正答率

<解答類型> ◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

1	ア と解答しているもの	人	%
2	イ と解答しているもの		
3	ウ と解答しているもの		
4◎	エ と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無回答		

<過去の調査における類題の正答率> 新傾向の問題のため、過去における類題なし。

中学校2年英語【3】指導シート

ここがポイント



補充・補完指導

問われている事柄について述べている英文に着目させましょう。

【分析】解答類型1～3の生徒は何人いましたか。

【確認】① My sister (僕の姉)について紹介している部分の英文に着目できましたか。

② to be ～という to 不定詞の表現 (名詞としての用法) の意味が理解できていますか。

ここがポイント



まとまりのある英文を「書くこと」の指導

書く指導は段階を踏んで。

◇「書くこと」の指導では、生徒の実態に沿って段階的に進めていくことが大切です。

「何を」「誰に向けて」書くのかという目的意識・相手意識をもたせながら取り組ませましょう。

昨日したことについて日記を書こう。

まず、どんなことについて書くのかを日本語で箇条書きにしてみよう。

書こうとしたことが今まで習ってきた表現で表せそうかを考えながら1文1文を英文にしていってみよう。

次に、文と文のつながりやまとまりを考えながら全体を書いていこう。できたらペアで相談し合ってみよう。うまく伝わりそうかな。

友達の意見も参考に、日記の内容を見直して完成させていこう。

家族でハリーポッターを見に行った。
内容が凄くて、とても感動した。・・・

「ハリーポッターを見るために映画館に行った。」にすると、習った to 不定詞の英文が使いそうだな。「とても感動した。」は、教科書で習った It was fun. の文を参考にすればできそうだな。

時の流れに沿って書くより、映画館での出来事を中心に書いた方が伝わりそうだ。
①映画を家族で見に行ったこと。②ハリーポッターだったこと。③映画の内容の簡単な説明。④自分の感想。の順で書いてみよう。「みんなもぜひ見に行ってみよう。」という気持ちも入れて書いてみよう。

ここがポイント



まとまった内容が書かれた英文を「読むこと」の指導

概要を理解させた後、詳細へ。

◇読むことの指導では、書き手の伝えようとする内容を正確に読み取ることが大切です。そのために主人公は誰か、話がどのように展開していくのかなどから、おおまかな流れをつかんだうえで、大切な部分を捉えて的確に読み取る力を付けていきましょう。その際、まず、【概要の把握】として、キーワード等をもとに内容を推測し、それらに関連させて概要をつかませます。次に【詳細の読み取り】として、事実や事柄を的確に捉えさせるために、設問を工夫するなどして詳細を理解できるようにします。さらに、「読んだ」感想を「書いて」まとめたり、「書いた」事柄を「話して」伝えたりするなど、他の領域の言語活動と関連付ける指導の工夫も大切です。

【概要の把握】

◆文章全体からおおまかな流れをつかむ。

※指導の工夫

- ・手がかりとなるヒント
- ・事前に内容を尋ねる質問 (オーラルイントロダクションの工夫)

【詳細の読み取り】

◆大切な部分を捉えて的確に読み取る。

※指導の工夫

- ・正確な読み取りのための設問の工夫 (英問英答、T-Fテストなど)

《さらに》

- 読んだことについて、自分なりの感想を書いたり、その理由を書いたりする。
- 感想やその理由を話して伝える。

中学校 2 年英語【4】解説シート

◆問題及び正答

She is living in Tokyo now and sometimes comes back to Nagano on ④ (土曜日).

【4】④の () 内の日本語を正しい英語 1 語で書きなさい。

正答 Saturday

◆出題の趣旨

中学 1, 2 年生で指導する語を英語で正しく書く力をみる問題である。ここでは, (土曜日) という「曜日」の名称を正しく書くことが求められる。

◆P 調査との関連

新規に加えた問題。

◆学習指導要領との関連

(3) 言語材料 ウ 語, 連語及び慣用表現

(ア) 1200 語程度の語

(イ) in front of, a lot of, get up, look for などの連語

(ウ) excuse me, I see, I'm sorry, thank you, you're welcome, for example などの慣用表現

◆解答類型及び過去の調査における正答率

<解答類型> ◎解答として求める条件すべてを満たしている正答

調査結果を記入し、
気付いたことをメモ
しておきましょう。



1◎	Saturday と解答しているもの	人	%
2	Sataday, Satadey, Saturdey 等の綴りの誤りがあるもの		
3	saturday と単語の始まりを小文字で解答しているもの		
4	他の「曜日」の名称を解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

<過去の調査における類題の正答率>

	正答率	問 題
21 年度 C 問題	43.3%	And we'll make a plan for next ④(8月)
22 年度 C 問題	72.5%	So he teaches Japanese to Mike at home every ④(日曜日).

中学校 2年英語【4】指導シート

補充・補完指導

ここがポイント



綴りの間違いをしている誤答を丁寧に分析しましょう。

〈分析〉「Sataday」や「Satadey」などと綴りの誤りをしている生徒は何人いましたか。

〈確認〉① 7つの曜日を正しく発音できますか。

② 正しく発音できる語を、正しい綴りで書くことができますか。

③ 「曜日」の最初の文字は大文字で始めて書くことができますか。

◇ 「Sataday」や「Satadey」などの綴りの誤りによる誤答を生かして、日常生活でよく用いられる曜日、月、数字のような時を表す基本的な語句を正しく書く場面を仕組みましょう。

7つの曜日が英語で言えるかな。

サンデー、マンデー、チューズデー、ウェズデー、サズデー・・・

しっかりと言えていますね。では、7つの曜日を英語で書いてみよう。

サンデーだから“Sandeī”かな。綴りを確認してみよう“Sunday”だ。発音と綴りは違う！！

“Wednesday”は[d]と2つめの[e]は発音していません。注意して書いてください。

“W-e-d-n-e-s-d-a-y”綴りは「ウェドネズデー」で覚えよう。発音は「ウェズデー」だ。注意して覚えよう。

□ 授業の始めに全体で確認している曜日、月、数字のような時を表す基本的な語句は、口頭で言えるだけでなく、授業の振り返りなどで学習カードに書いて確認する工夫をして、定着を図りましょう。

1年「発音と綴りの関係」の指導

ここがポイント



日本語との違いに留意させ、発音練習など段階的に継続的に指導しましょう。

◇ 1学年では、特に発音の基礎をしっかりと身に付けることが大切です。ALTの協力を得たり音声教材を活用したりしながら、繰り返し指導することにより定着を図りましょう。

Friday を発音しよう。フライデー [fraɪdeɪ]
ローマ字のように言ってみよう。フリデー

フリデーと言ってしまうそうだけど、英語でフライデーだ、[ɪ]はアイ、[aɪ]はエイと言っているぞ。

日本語と英語の音声の違いに注意して言おう。

Sunday [sʌ'ndeɪ], Monday [mʌ'ndeɪ]・・・

これから言う英語を、書いてみよう。サタデー。

サタデーは、S-a-t-u-r-d-a-y だ。

2, 3年「基本的な語、連語及び慣用表現」の指導

ここがポイント



生徒の自己表現文や小テスト等は綴りを正しく直して返却しましょう。

◇ 基本的な語、連語及び慣用表現については、言語活動などで活用することを通して定着を図るようにしましょう。その際に、口頭だけで終わらせず必ず書いて定着を図る工夫をしましょう。

□ 聞いたり話したりする活動だけで終わることなく、授業の終末では「今日学習した表現を使って自分のことを書いてみよう」など書いて定着を図る工夫をしましょう。

□ 基本的な語、連語及び慣用表現については、次回の writing での定着確認テスト内容を示すなどして家庭学習に目標をもたせ、英語を正しく書くことを意識させましょう。

□ 生徒が書いた自己表現文や小テスト等を必ず見とどけ、綴りを正しく直して返却しましょう。

中学校 2 年英語【5】解説シート

◆問題及び正答

本文の内容について、【5】の質問に英語で答えなさい。答えは（ ）内に1語ずつ書きなさい。

【5】 Does Ken like swimming very much?

(), () ().

正答 (Yes), (he) (does).

◆出題の趣旨

英語で書かれた本文の内容について、簡単な質問を理解し、Yes か No を使って適切に答えることができるかどうかをみるものである。ここでは、本文中の He likes swimming very much.に着目すること、質問の主語 Ken を代名詞の he に置き換えること、does が文頭にきているため文尾を does にすることが求められる。

◆P調査との関連

本文の内容について、Does Stacy live with her family now? の質問に、Yes, she does.と答えることができるかどうかをみるP調査【3】の類題である。

◆学習指導要領との関連

(1) 言語活動 (ア) 言語活動の指導事項

ウ 読むこと (ウ) 物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること

エ 書くこと (ア) 文字や符号を識別し、語と語の区切りなどに注意をして正しく書くこと。

(3) 言語材料 エ 文法事項 (ア) 文

d 疑問文のうち、動詞で始まるもの、助動詞(can, do, may)で始まるもの、or を含むもの及び疑問詞(how, what, when, where, which, who, whose, why)で始まるもの

◆解答類型及び過去の調査における正答率

＜解答類型＞ ◎解答として求める条件すべてを満たしている正答

1◎	Yes he does と解答しているもの	人	%
2	Yes と解答しているが主語が he でないもの		
3	Yes he ～と解答しているが、最後がdoesでないもの		
4	No ～と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

＜過去の調査における類題の正答率＞

過去の問題	正答率	過去の問題	正答率
20年度県学力実態調査	47.8%	22年度P問題	51.0%
21年度P問題	55.7%	22年度C問題	63.4%
21年度C問題	53.2%	23年度P問題	49.6%

調査結果を記入し、気付いたことをメモしておきましょう。



中学校 2 年英語【5】指導シート

補充・補完指導

ここがポイント



疑問文の主語に着目させましょう。

〈分析〉 Yes と解答しているが、主語が適切でない解答（解答類型 2）の生徒は何人いましたか。

〈確認〉 主語を見つけることができますか。

主語を代名詞に置き換えることができますか。

◇ 「Does Ken like swimming very much? – Yes, () does.」の誤答を生かして、主語を適切な代名詞に置き換えて yes-no 疑問文に答える場面を仕組みましょう。

この疑問文の主語はどれかな。

Ken likes ~の文が Does Ken like ~? になったのだから、Ken が主語だ。

答えの文の主語はどうすればよいかな。

Ken は男の子の名前だから he にする。

答えの文の主語を代名詞に置き換えて書いてみよう。

主語は人かなモノかな。男の人なら he, 女の人なら she, モノなら it, 複数形なら they にかえて。

2 年「be 動詞, 一般動詞の現在形, 過去形の疑問文とその応答文」の指導

ここがポイント



主語を正確に見つける習慣を身に付けさせましょう。

◇ be 動詞と一般動詞の yes-no 疑問文とその応答の仕方の基本的な特徴を理解させることに留意し、意味のある言語活動に繰り返し取り組ませるようにしましょう。その中で、疑問文の主語を見つけて、その応答文では代名詞に置き換える習慣を身に付けさせていきましょう。

答えの文ではどの代名詞を使えばよいかな。

he, she, it, they の代名詞を使って答える。

この疑問文の主語はどれかな。

be 動詞の疑問文では Is, Are, Was などの後に主語がくる。一般動詞の疑問文では Do, Does, Did の後に主語がくる。

3 年「現在完了形の疑問文とその応答文」の指導

ここがポイント



現在完了形の用法を理解させる際には、現在形, 過去形と比べながら指導しましょう。

◇ 現在完了形の yes-no 疑問文とその応答の仕方の基本的な特徴を扱う際には、現在形, 過去形の yes-no 疑問文とその応答の仕方と比べながら理解させましょう。

□ 現在完了形の yes-no 疑問文の場合も、現在形, 過去形の場合と同じで、疑問文の文頭に注目することを生徒に気付かせる工夫をしましょう。

□ 現在形, 過去形の場合と同じように、主語を正確に見つけて、答えの文では代名詞に置き換える習慣を身に付けさせましょう。(板書により、主語を枠囲いして注目させるなどの工夫を)

□ 教科書本文の Q A 活動などで、現在完了形や現在形, 過去形, be 動詞や一般動詞など、様々な yes-no 疑問文に適切に答えられるようにしましょう。

中学校 2 年英語【6】解説シート

◆問題及び正答

本文の内容について，【6】の質問に英語で答えなさい。答えは（ ）内に1語ずつ書きなさい。

【6】 Where does Ken's sister live ?

() () () ().

正答 (She) (lives) (in) (Tokyo).

◆出題の趣旨

英語で書かれた本文の内容について，疑問詞を使った簡単な質問を理解し，適切に答えることができるかどうかをみる問題である。ここでは，本文中の She is living in Tokyo now に着目すること，Ken's sister を代名詞の She に置き換えること，一般動詞の live を主語に対応させて lives にすることが求められる。

◆P調査との関連

本文の内容について When does Stacy play tennis? の質問に，She plays it every Sunday. と答えることができるかどうかをみるP調査【4】の類題である。

◆学習指導要領との関連

- (1) 言語活動 (ア) 言語活動の指導事項
 ウ 読むこと (ウ) 物語や説明文などのあらすじや大切な部分を読み取ること。
 エ 書くこと (ア) 文字や符号を意識し，語と語の区切りなどに注意をして正しく書くこと。
- (3) 言語材料 エ 文法事項 (ア) 文
 d 疑問文のうち，動詞で始まるもの，助動詞(can, do, may)で始まるもの，or を含むもの及び how, what, when, where, which, who, whose, why の疑問詞で始まるもの

◆解答類型及び過去の調査における正答率

＜解答類型＞

◎解答として求める条件すべてを満たしている正答

1◎	She lives in Tokyo	と解答しているもの	人	%
2◎	She's living in Tokyo	と解答しているもの	人	%
3	She lives in Tokyo	について動詞にsがないもの		
4	She lives in Tokyo	について主語がSheでないもの		
5	Ken's sister lives Tokyo	と解答しているもの		
9	上記以外の解答			
0	無解答			

調査結果を
記入し，気付
いたことを
メモしてお
きましょう。



＜過去の調査における類題の正答率＞

過去の問題	正答率	過去の問題	正答率
20年度県学力実態調査	17.6%	22年度P問題	29.3%
21年度P問題	25.8%	22年度C問題	48.9%
21年度C問題	20.7%	23年度P問題	22.9%

中学校2年英語【6】指導シート

補充・補完指導

ここがポイント



3人称・単数現在形や疑問詞で始まる疑問文の理解は確かですか。

〈分析〉「She live in Tokyo」(解答類型3)と解答している生徒は何人いましたか。

〈確認〉主語が3人称・単数(He, She, It, 人の名前等)であることに気付けますか。

主語が3人称・単数で現在形の平叙文の場合は、動詞に-(e)sを付けることができますか。

疑問詞 where の意味を理解していますか。

◇「Where does Ken's sister live? - She live in Tokyo.」の誤答を生かして、読み取った内容を英文で答える際に、文法面で正しく書いて答える場面を仕組みましょう。

疑問文の主語はどれかな。

Ken's sister だ。ケンのお姉さんだ。

答えの文の主語は何になるかな。

Ken's sister で、置き換えると She になる。

疑問文では Where does ~? だけれど、
答えの文は live でいいかな。

主語が She だから、動詞に-(e)sをつける。
She lives in Tokyo. だ。

本文の内容を読み取るために、疑問文の意味を確認しましょう！！

①疑問詞、主語、動詞に着目させ、「Where」「どこ」、「Ken's sister」「ケンの姉」、「live」「住む」ということを確認し、「ケンの姉が住んでいる場所」を本文から抜き出せるようにします。

②答えの「根拠となる文」についても確認し、その文をもとに答えさせましょう。

2年「wh-疑問文とその応答文」の指導

ここがポイント



主語と時制を確認して動詞を適切な形にする習慣を身に付けさせましょう。

◇wh-疑問文とその応答の仕方の基本的な特徴を理解させるとともに、まとまりのある英文の読み取りだけでなく、文法面でも正しく答えることができるようにしましょう。そのために、QA活動を口頭だけではなく、書くことで、主語を確認して動詞を使う習慣を身に付けさせましょう。

この疑問文の主語はどれかな。

疑問文の主語を見つけ、答えの主語(代名詞)を確認

答えの文では動詞はこのままでよいか。

疑問文の時制を確認して

過去形なら答えの文も過去形にして

現在形なら、主語が He, She, It, 等の時は動詞に-(e)sが付く。

2, 3年「教科書教材の英文についてのwh-疑問文とその応答文」の指導

ここがポイント



wh-疑問文とその応答の仕方に、繰り返し慣れさせましょう。

◇3年生の教科書教材のまとまりのある英文についてのQA活動でも、口頭での確認だけで終わらせてしまいがちですが、計画的にポイントを絞って、書くことで文法面の指導をする場面を繰り返し位置付けましょう。

①疑問詞を使った簡単な質問(疑問文)の意味が理解できているか確認しましょう。

②文中のどの英文についての質問か自覚できるように、根拠となる英文にアンダーラインを引く習慣を身に付けさせましょう。

③教科書本文のQA活動などで、5W1Hなどの様々な疑問文に対して書いて答えることができるようにしましょう。一度に多数の疑問文に答えることにならないように、計画的にポイントを絞って指導しましょう。

中学校 2 年英語【7】解説シート

◆問題及び正答

【7】あなたが先週したこと（スポーツや趣味など）を1つ取り上げて英語で1文書き，そのことについてあなたの考えや気持ちを英語で1文書き加えなさい。

正答例

例1) I played tennis. I like it very much.

例2) I listened to music last Sunday. I like to listen to music.

例3) I went shopping last week. I enjoyed it.

例4) I studied English very hard. I want to be an English teacher.

◆出題の趣旨

身近な場面，特に自分自身について英語で2文書くことができるかどうかをみるものである。ここでは，書く内容を構想する力，正しく文を書く力が求められる。

◆P調査との関連

自分自身について英語で2文書くことができるかどうかをみるP調査【5】の類題である。

◆学習指導要領との関連

(1) 言語活動

エ 書くこと (エ) 身近な場面における出来事や体験したことなどについて，自分の考えや気持ちなどを書くこと。

◆解答類型及び過去の調査における正答率

<解答類型>・・・①, ②, ③, ④については下の正答の条件を参照して下さい。

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答 ○設問の趣旨に即し必要な条件を満たしている正答（準正答）

		人	%
1◎	①, ②, ③, ④を全て満たす		
2○	①, ②, ③を満たす		
3	文法的な間違いがあるが，内容的に理解できる2文が書かれている		
4	内容的にも文法的にも正しいが，1文だけ書かれている		
5	綴り及び大文字・小文字の間違いがあるが，内容的に理解できる1文が書かれている		
6	文法的な間違いがあるが，内容的に理解できる1文が書かれている		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

正答の条件

- ① 1文目は，先週したことについて過去形を使って文法的に正しく書くことができている。
- ② 2文目は，1文目に書いた内容について自分の考えや気持ちが入って書いている。
(時制は，現在形でも過去形でもよい。)
- ③ 2文とも，動詞の活用についての綴りミスをしていない。
- ④ 動詞の活用以外の単語に綴りミスをしていない。

<過去の調査における類題の正答率>

過去の類題	正答率	過去の類題	正答率	過去の類題	正答率
21年度P問題	27.6%	22年度P問題	69.8%	23年度P問題	45.5%
21年度C問題	29.6%	22年度C問題	32.5%		

中学校2年英語【7】指導シート

補充・補完指導

ここがポイント



誰を主語にするか考えさせましょう。

- 〈分析〉無解答や1文しか書くことができなかった生徒は何人いましたか。
〈確認〉「誰について」「何について」書くのか考えられたでしょうか。
〔主語+動詞 ～ 〕の語順で正しく書くことができますか。

◇主語と動詞を明らかにして書くことを意識付ける場面を仕組みましょう。

誰のことを、何について書くのかな。

自分のことだ。テニスについて書こう。

動詞は何を使うのかな。

動詞は play だな。過去だから played だ。

1文書いたことに考えや気持ちを付け加えて英文を表現してみよう。

したことは、I played tennis.
テニスが好きだから、I like it very much.

2年「まとまりのある文章を書くこと」の指導

ここがポイント



段階を踏んだ指導をしましょう。

◇条件英作文から自由英作文へと段階を踏んだ指導をしましょう。

〔条件英作文例〕「昨日したこと」(2文程度)

・・・書く内容を提示することから始めましょう。

「私は、昨日野球をした」という過去形の文を英語で書いてみよう。
教科書の基本文を参考に書いてみよう。

「野球をした」だから動詞は play 過去形は played だ。主語と動詞は I played で「野球・昨日」をつけて I played baseball yesterday. だ。

〔自由英作文例〕昨日の生活についての紹介文(2文程度)

・・・話題を提示し、書く内容のまとまりを考えさせましょう。

まずは、何について書くのか決めよう。

サッカーをしたことについて書こう。

付け加える内容について考えよう。

おもしろかったという感想を付け加えようかな。おもしろいは interesting だ。

英文にしてみよう。

I played soccer. It was interesting.

2, 3年「まとまりのある文章を書くこと」の指導

ここがポイント



「目的をもって書く」機会を増やしましょう。

◇英文を「書くこと」へのハードルを低くする工夫をし、繰り返し指導しましょう。

- ①導入時に、教師が話題に関連した話をするなど、生徒が書きたくなるような場面を設定したり、書くためのモデル(表現)を提示したりして、「書くこと」へのハードルを低くする工夫をしましょう。
- ②相手や目的を明らかにした上で、書く内容について構想させましょう。その際、メモやウェビングなどの手だてを工夫しましょう。
- ③文の完成後は、教師が添削をし、生徒が英文の正しさにも目を向けるようにしましょう。
- ④「時間をかけて構想を練った上で書く活動」と「短時間で与えられたテーマについて書く活動」の両方をバランスよく位置付けましょう。